京城日報
十二日夕刊
（朝夕刊を併せて八頁）
本紙定價 ▲一部金五錢 ▲一ヶ月金七十五錢 ▲三ヶ月金二圓十錢（郵税共）
廣告料金 ▲五號活字一行金六十錢 ▲四號活字一行金一圓
印刷兼發行人 奥田直毅
編輯人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 京城日報社
電話番號（編輯局三四五番・營業局二六一番）振替貯金口座京城三〇〇番

○我兵上陸反抗決議
浦鹽に命令として移牒す

西伯利亞中央執行委員會は其の會議に於て日本兵浦鹽上陸反抗の決議をなし之を命令として浦鹽に移牒せり（哈爾賓電報）

○敵軍三地點占領

ヘーグ元帥の公報に依れば敵はリシュブール、ストヴァー、ラヴァンチーを占領せり（倫敦電報）

○英國徴兵案通過

英國徴兵案は八十票對二百九十九票の大多數にて下院を通過す（倫敦電報）

○倪氏總統選擧意見
總統總理の反對

倪嗣冲氏は臨時參議院を國會の代りとし總統選擧を行はしむべしと主張しつゝあるも馮總統段總理は之に反對せり（北京電報）

○南方討伐續行決定

倪嗣冲氏入京と共に湖南四川廣東討伐を續行するに決定せり（北京電報）

○張氏軍隊派遣魂膽

張奉天督軍は十日新混成旅二千六百名を漢口に向け派遣し又十一日一千名を同地方に派遣したり右派遣の魂膽は來るべき大總統の選擧に武威を張るべき下準備なりとの説あり（奉天特電）

○張督軍の措置と將校

張奉天督軍は既報の如く盛んに兵を募りて新軍を編成しつゝあるが其將校は多く二十師より任命せる爲め他の將校連は督軍の措置を不滿とし漸次暗闘を始めたり（奉天特電）

○赴日記者團通過

赴日支那記者團一行は十二日午前六時半來安貴賓室にて少憩の上同七時半發京城に向へり（安東特電）

○小池中將去來

小池憲兵司令官は十二日午前九時二十分奉天より來安同地分隊を檢閲し午後六時半發京城へ向ふ筈也（安東特電）

○堀技術局長通過

堀滿鐵技術局長は十二日午前七時半當地通過釜山に向へり（安東特電）

○政務總監一行

去る十日午前八時三十分東京驛出發赴任の途に上りたる山縣政務總監は十一日朝小郡驛より自動車にて郷里萩に向ひたるが遠藤秘書官は下關に出て同地にて待受け又同行せる山田眞鍋兩屬は何れも十二日午前九時二十五分南大門着列車にて歸京せり因に政務總監は十六日午後九時歸京すべし

○定例長官會議

十二日長官會議の定日につき總督府第一會議室に於て長谷川總督、國分、宇佐美、小原持地各長官、古海總長、秋山人見兩局長久水外事課長等列席午前九時三十分開議同十一時三十分散會したり

市場問題（一）
經營困難ならず

京城商業會議所の提唱せる中央市場建設問題に關しては既記の如くなるが其の後機運は益々熟し既に現今市場經營者側に於ても中央市場建設の

▼一日も速か ならむ事を切望し再三再四商業會議所に出頭して種々打合せするところあり會議所に於ても諸々調査の歩を進め之れが研究に餘念なきが今其の將來に關する會議所の意見を聞くに由來市場は其の公設たると私設たるとを問はず場内に店舗又は賣場を開く者に對しては賦金を徴收するを例とし而して其の方法に就ては手數料に依るものあり又收入に依るものあり公設市場にして收入に依るものは歐米に於て尠からず其の目的とする所は市場の收益を増加して市民の負擔を輕減せしむるに在りされど收入に依るものは市場全部の負擔を市場を利用する消費者に轉嫁せしむる結果となり

▼物價を騰貴 せしむべく若し騰貴を抑遏せんとせば商人を殊更に苦しむる事となるべく若し夫れ手數料に依るものに徴へば市場に投じたる資金及び利子經營費を償ふに足る金額を按分して賦課するが故に公設の目的に反する事なしされば我が京城に於ては此の手數料主義に依つて立案するを可とすべきも此の主義を一貫せしむるに於ては其の間種々差支を生ずべきを以て營業税に準じ賣上高に準じ賣場の大小に應じて料金を定め或は賣場貸付の期間を制限して時々入札を爲し以つて使用料の過度を虞り折衷調和するを善とするの方法とす殊に卸市場の問屋は一種の特權を附與せられ

▼獨占の地位 に立つものなるが故に特許料の意味にて多額の料金を負擔せしむるも不可なからん神戸湊川魚鳥青物市場は取引高約九十萬圓に達せるが同市經營者たる會社は之を十六名の問屋に貸與し使用料一萬六百圓を徴收しつゝあり同宮前分市場は取引年額卅八萬圓内外なるが使用料四千八百圓を以て某魚問屋に貸與し又同兵庫分市場は取引年額六十萬圓之を八名の問屋より年一萬圓

▼使用料金 を徴して經營せしめつゝあり此等は皆卸市場にして參考とすべき也即ち使用料は取引額の一歩一厘乃至一歩六厘の間にあり假りに問屋の使用料を取引額の一歩二厘と見做し京城公設市場の取引年額を二百萬圓（實際に於ては之れより遙かに多額に上らん）とすれば問屋よりは年二萬四千圓の使用料を徴收し得る勘定なり小賣市場に於ては其の商人は問屋の如く獨占的地位に在るものに非ざるを以て使用料金は成る可く低率に定め使用場所の大小に從ひ區別するの外なからん臺灣の市場は既に記述せる如く月貸と日貸とに分ち月貸は四圓乃至八圓日貸は一錢乃至三錢を徴收す大連は間口二間の賣場の料金を月額十圓とす而して月貸は重に

▼商人の使用 する所にして日貸は生産者が荷車又は擔荷の爲めに設けたるものなり今百二十軒の店舗を設け平均月貸料十圓を徴し得るものとすれば月千二百圓其他日貸料百圓を得れば小賣場の年收入一萬五千六百圓に達すべし右の計算に從へば市場の年收概算三萬九千六百圓を得べく此中六千圓を經營費及び修繕費として差引き尚ほ八千四百圓を償還金に積立て殘額二萬五千圓を投下したる資本の利子（七歩と假定す）に充當する時は

▼之を還元 して三十五萬七千圓を土地家屋及び其の他の設備に費して可なり將來の隆盛を見越せば尚ほ大なる費用を投ずるも經營上敢て困難ならざる可しと信ず

北京操觚界の權威
赴日記者團一行の入京
十九有力新聞の代表者

北京有力新聞十九社の代表者を以て組織されたる支那新聞界赴日視察團は愈々去る十日午後八時三十五分北京出發十二日午後七時二十分南大門驛着列車にて入京朝鮮ホテル一泊十三日午後七時五十分南大門發列車にて出發南下す可きは既報の如し一行中二名は發に京城通過東上せる支那前内務總長湯化龍氏に隨行先發せるを以て

▲滿鮮間は十七名 となれり資格を編輯長以上と制限せし爲め該赴日團員は北京操觚界に重きを爲せる文豪揃と稱するも不可なく正團長汪立元氏は北京新聞協會幹事にして北京大學堂講師以下種々の閲歴を有し副團長の康士鐸氏は同じく同協會幹事にして前衆議院議員に當選し政界上に侃諤の辯を揮ひ又現臨時參議院議員には烏澤聲光雲錦の二氏あり

▲此中日本留學生 七名あり即ち東京帝大出身の法學士前内務部勅任參事官にして日本人を正夫人とせる張友棟氏、東京高等工業學校卒業生にして北京日報界の權威たる北京日報編輯長徐瑾氏は頗る日本通にして日語を操つること自國語の如し東三省出身者としては奉天公主嶺出身の谷耀山氏吉林賓州出身の婁鴻聲氏、吉林省出身の烏澤聲氏あり

▲學者には前清學人の王博謙氏ある等其の特色長所は十人十色あるも皆鋭中の錚々たるを失はず報知赴日視察の報一度び北京に傳はるや北京各方面の歡迎非常にして馮大總統、段國務總理は百忙の一閑を割きて特に別宴を開き日本視察に就ての鄭重なる注意を與ふると共に日支親善の實を擧よと激勵し其他連日連夜に渡り日支各方面よりの送別宴ありき

▲六日夜北京公使 館芳澤參事官船津二等書記官の主催せる別宴の如き林公使も劇務中を繰り合せて出席打ち寛ぎたる談話の交換ありて實に和氣靄々たるものありたりきと同一行は朝鮮通過の豫定なりしも林公使の注意に依り豫定を變更して京城一泊市中觀光の都合と爲りたるもの也而して歸路は門司より大連に直行の豫定なりと

○横斷航路初航
十二日淸津歸著
成田事務官補談

總督府の命令に係る朝鮮郵船會社の日本海横斷淸津敦賀間の新航路は十日

▲元山入港 十二日淸津歸港の順にて無事定期廻り初航を終へたり復航には熱田兵器製造所より陸軍兵器製造所に發送したるレール多量並に漁具若干を積載し來れり尚ほ同航路に試乘せし成田海事課監理主任は曰く淸津敦賀線の初航は頗る靜穩にて何等動搖を感ぜざりき本航路の開航に付北鮮の淸津城津元山三港民の喜悦は勿論敦賀に於ても初航なりとの意味にて同地有力者約百名は吾々の爲め盛大なる歡迎會を開き態々

▲金澤地方 より出掛け來りし人もありたる位なり又裏日本方面にては本航路の實現による北鮮方面との關係に付多大の囑望と期待を有するものの如く遠からず視察團を組織し北鮮方面を歷巡するとの事なりしが北鮮並に京城地方よりも裏日本を視察するは極めて必要なるべく斯くして本航路の利用を有效ならしむるは吾々も希望して止まざる所なり唯就航船が一千二百噸の平壤丸にては小型に過ぐる此點は當局より朝鮮

▲郵船會社 に對し命令條件に相當する二千噸級船の廻船を督促し居るに付遠からず其の就航を見るに至らん

○朝鮮郵船總會

朝鮮郵船會社の當期決算を携へ同會長の承認を求むるため東上中なる文書課長川田治一氏は十三日午前九時二十分南大門驛着列車にて歸京の筈なるが同社にては十五日樓上にて重役會を開き右決算案を附議する由にて同日總會通知狀を發する筈なり株主總會は來る二十九日となるべし尚ほ總會には原田氏も入京列席する筈なり

門赴日記者團（略歷）

汪立元氏（國民京津時報社長）字建齋浙江省杭縣の人、年五十一、前北京大學堂提調、招商局滬務處會辦、内務部僉事等の職に在り學問深く且事務の才に富む報界同志會幹事の一人として北京新聞界にて重立ちたる人なり。

康士鐸氏（副團長民視報社長）字甲丞直隸涿縣の人、年卅四、前衆議院議員、報界同志會幹事の一人。

徐瑾氏（北京日報總編輯）字瀛從、廣東の人、年二十九、東京高工を卒業して一時農商部諮議たりし事あり。

陳博賢氏（晨鐘報編輯）字博生福建閩侯縣の人、年二十八、早稻田大學出身。

林萬里氏（公言報總編輯）字少泉、前衆議院議員。

于藍瀞氏（日知報營業部長）字威伯、山西の人、年三十六、日本大學出身。

張友棟氏（亞東新聞副社長）字怡孝、貴州の人、年三十八、東大法科出身にして嘗て内務部參事たりし事あり。

湯用彬氏（新民國報社長）字頤公湖北の人、年四十、早くより政界に出て嘗て湖北省議會秘書長及び湖南都督府秘書長たりし事あり初め漢口後北京にて新聞事業に從事せり。

彭希民氏（國民公報編輯主任）湖南長沙の人、年三十四、官歷に富み工商部秘書、巴拿馬賽會局副局長總統府諮議等の職にありし事あり、新聞界に入りしは漢口の夏報社長たりしに初まる。

吳光熙氏（公論日報社長）字韓如、安徽涇縣の人、年三十一、北京國立法政專門學校經濟本科卒業にて、交通政策を得意の學科とす、嘗て中華大學にて其教授たりし事あり、新聞記者俱樂部幹事たり。

谷耀山氏（北京新聞編輯）字岫嵐、奉天公主嶺の人、年三十三、吉林法政專門學校政治本科卒業

李安陟氏（亞東新聞社長）名を以て字とす江西の人、年三十七、東京高師の歷史地理科を出づ、嘗て吉林省林務調査員たりし事あり

婁鴻聲氏（北京新聞總經理）字醒園、吉林賓州の人、年四十六、吉林省會議員及び參議院議員たりし事あり。

王河屏氏（民强報社長）江蘇松江の人、年五十、前廣東知縣たり。

馬璞氏（愛國報社長）字太璞、年三十一、學校教員の出身なり。

王博謙氏（日知報社長）字伯謙浙江杭州の人、年四十三、擧人出身

張傳綸氏（大中華日報社長）字嵐谷、安徽桐城の人、年三十六、前湖南法律學館卒業にて、嘗て刑部郎中補大理院推事たり。

烏澤聲氏（新民報社長）字謫生吉林の人、年三十五、早稻田卒業にて、嘗て國會議員たり、今參議院議員たり。

光雲錦氏（國是報社長）字晨閣安徽桐城の人、年三十九、嘗て廣西滕縣知縣黑龍江兵備處軍需提調等の任にあり、目下參議院議員。

▼重役增員案

朝鮮郵船會社にては社長原田金之祐氏が一月日本郵船專務に就任し朝鮮郵船は會長名を以て其の實務を執る事となりしも到底其の京城常任は事情許されざるに付現取締役一名を二名に増加せんとの議あり原田氏の腹案は川田文書課長十三日之れを齎らし來るべく多分來る十五日の重役會に附し重役會を通過せば二十九日の株主總會に提案する事とならん而して其の候補者には現營業課長松崎時勉氏說高し尚ほ一說には朝郵重役增員は焦眉の問題にあらざるに付次期總會まで延引せりとも稱へられつゝあり

○豆滿江輕鐵狀況

豆滿江の左岸より天寶山に達する輕便鐵道は日支合辦事業として三月十六日北京政府より許可ありたるが同輕便鐵道は北鮮地方にあるが如き手押式のものにあらず小機關車を以て運轉する所謂普通鐵道の輕便なるものを許可せられたるものなるに經營者は手押式の臺車を運轉せしめんとする意嚮なるを以て一般日本人支那人は姑息なる手押より完全なる小汽車の方便利多しとて其變更を望み居れり尚ほ同輕便鐵道は會寧停車場前約一哩は會寧と接續する豆滿江の右岸なる朝鮮側即ち會寧の事業として經營せらるべく其色の事業として國際經營の件には同公司之に當るもの、如し

○高陽郡ご產業團體

高陽郡に於ける養蠶組合及び私有林保護組合にては各聯合會を組織し技術員を傭聘し斯業の發展を圖ることとしたるが又農事獎勵會の技術員を增聘し農事改良上大に努力することゝなしたりと

○畜產組合認可

濟州島濟州面二徳里李陽甫外六名より申請中なりし濟州面畜產同業組合設置の件は四月八日附を以て認可さる

○滿鐵學生優待

滿鐵滿鮮にては各種學生の旅行に對し當分左記の通り乘車賃金の大割引（單獨乘車の場合は學校長の證明書と引換により）を爲す事となりたる由

單獨乘車の場合　三等五割引
團體乘車の場合　三等賃金五割引の上更に之に團體割引規程を適用す團體割引率左の如し
二十五人以上四十九人迄　二割引
五十人以上九十九人迄　二割五分引
百人以上百九十九人迄　三割引
二百人以上　三割五分引

○土木建築協會役員會

朝鮮土木建築協會にては來る十四日午後一時より長谷川町の同協會にて基金醵出其他會務に關する諸般の協議を行ふ由

○醫師試驗出願數

既報の如く第八回朝鮮醫師試驗出願は十日を以て締切りたるが受驗者總員四十六名に達し内朝鮮人は十六名ありたりと

○軍司令官歸任

咸興步兵第七十四聯隊視察の爲め出張中の川軍司令官は十二日午後十一時二十三分龍山着列車にて元山より歸任すべし

○中村檢事長東上

中村京城覆審法院檢事長は司法官會議列席の爲め十三日朝南大門驛發列車にて出發東上す可し

○岡本技師赴任

遞信局技師岡本九郎氏は釜山出張中の所十一日夜歸任せり

○野呂技師事務打合

臺灣總督府殖民課長技師野呂寧氏は總督府と林野事務打合の爲め去る九日夜入京し目下滯京中なりと

○松川中將招宴

駐剳軍司令官松川中將は十三日午後七時同官邸に於て晚餐會を催し在京城外交團を招待すべしと

○鮮銀の張宴

既報の如く朝鮮銀行にては十二日午後七時二十分入京する赴日中の北京記者團を花月に招待し盛宴を張る由なるが京城各新聞通信代表者を陪賓として招請し銀行より三島片山兩理事中村吉田井内三局長飯泉不破兩秘書役列席すべしと

人事消息

▲望月龍三郎氏（總督府技術製造所長）事務打合せの爲め出府を命ぜらる
▲赤峰哲夫氏（咸鏡南道事務官）十一日夜入京浦尾へ
▲稲田忠三氏（群山電氣技師）十二日朝入京不知火へ
▲黄倉信氏（遞信局事務官）同上
▲成田勝彦氏（遞信局事務官補）敦賀に旅行中の所十二日夜歸任

臥床閑話
杏洞病客

○時會々西班牙に於て、王位繼承問題惹起するや、ビスマークは、好機逸すべからずとなし、直ちに同問題を利用して、佛國の位置を脅かし、遂に佛國人をして、憤激措く能はざらしめしなり。○即ちビスマークは、陰にホーヘンツオルレン家の一公子をして、頻りに西班牙王位繼承を强請し、陽には晢れ關せざる者の如く、無きの狀を裝ひ、佛國の抗議に對しては、殆ど其要領を得るに困ましめぬ。而して同問題に關し適々佛國大使ベネッティが、普王に謁見せし際、王の之を拒絕せしとの電報に接するや、ビスマークは、直に電文を改め、佛國大使は、普王に不當の要求を爲し、王は侍從武官をして、同大使の謁見を拒絕したりとの意に於て、恰も佛國大使が凌辱を被むれるが如く讀まるゝの形容を以て、之を各國駐在獨逸使節及び新聞紙上を以て公にせしめたり。ビスマークの此の手段は見事に的中して、其電報の周知せらるゝや、愈々佛國上下人心の激昂甚しく、遂に佛國は干戈を取つて起つに至れり。其急報の達するや、窃に會心の笑を漏したるは、事實に於て普國外交の掌握者たるビスマーク其人なりし也。○ビスマークは既に其目的は達したるも、尚ほ開戰の責任を回避せん爲に、普魯西政府には、歐洲諸國に、佛國大使謁見拒絕を報道せる文書等無く、一般に周知せられたるは、エムスにありたる一新聞記者の打電に依るものなり、普魯西は、各國駐在の獨逸大使に通報したるに過ぎずと、英國其他の各國に公式通報を發したり。○是れ、ビスマークが特に新聞電報を利用したるは、今回の大戰勃發に際し、伯林政府が巧に其新聞を利用して、露國に開戰を促したると、實に其の揆を一にしたるは、面白き事實なりと云はざるべからざる也。されば獨逸人等は、普佛戰爭の發起者は、佛國にして、獨逸は止を得ず、防禦戰爭に從事せりと稱し居たり。然どもビスマークが死後、其思念回顧録に於て、自慢話の一として、云ふに落ちず語るに落ちて、遂に普佛戰爭の發起者は、普魯西なりし事明瞭となるに至れり。其責任を外交上の驅引よりして轉嫁せんとする巧妙なる手段は、今に始まれるには非ず。普佛戰爭の如き、普魯西一流の外交上の驅引の典型なりと云はざるを得ざる也。

▲廣告▼

金剛山繪葉書（一組六枚）勝探 定價三十六錢 郵税二錢
物相の秋、元山港の朝、温井里の朝、海金剛龍淵の夕霞、赤壁江の朝、を實地に撮寫したるものにして其の筆致の優さと印刷の鮮明なるとは歐米の夫れにも決して遜色なき鮮麗なる又得がたき良品なり。
京城太平通一丁目 京城日報社代理部 電話（局内）十八番 振替京城三〇〇番

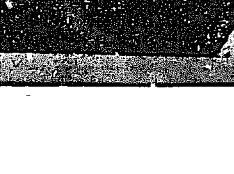
登記公告
汝山浦地方金融組合の出資總口數六百四拾卷口拂込ミタル出資ノ總額千五百五拾九圓拾五錢ト變更
大正七年四月拾日登記
京城地方法院汝山出張所

法人登記公告
旌善地方金融組合登記事項中地區設定ニ依リ主タル事務所所在地組合長及理事監事ノ住所ヲ左ノ通變更ス
一、主タル事務所 江原道旌善郡旌善面鳳陽里四百壹番地
一、組合長ノ住所 江原道旌善郡旌善面鳳陽里武百四拾番地
一、理事ノ住所 江原道旌善郡旌善面鳳陽里四拾八番地
一、監事ノ住所 江原道旌善郡旌善面鳳陽里四百五番地
一、監事ノ住所 江原道旌善郡旌善面李漢永ノ住所 江原道旌善郡臨溪面蓬山里武拾六番地
大正七年四月八日登記
京城地方法院旌善出張所

告 京城分會員
七日雨天ノ際ハ來ル十四日春季總會開會候條午後一時迄ニ獎忠壇ニ參集相成度
帝國在鄉軍人會京城分會

貨殖百科全書の縮刷……也……全國各地
貨殖新聞
金儲の新聞
本紙は雜誌新聞界にラヂュームの記事簡潔豐富内容充實
主義を實行する本紙讀者一人を增加する每に即ち利益あります
無代進呈 申込次第一部
發行所 大阪九條通一丁目 貨殖新聞社
支局長募集 條件有利 次第細則進呈

御旅行用に便利にして耐久無比の御使用者に好評嘖々
鞄
東京市芝區 和田伏見町 内田製造問屋 電話芝一五五一 振替東京一七八〇



陸軍拂下
並に官衙下品一切
襦袢、袴下、靴下、手袋、被服
京城府漢江通三 電話長三六番
佐藤古着店

浦鹽の日本小學校(中)

大工の子が一番多い

内地を知らぬ子供が

原籍別にすると長崎が最も多數 次ぎは佐賀熊本の順序

▼何が愉快と云つて海外に出て同胞の學校を訪ふ程愉快なものはない、亞米利加あたりでは邦人の子供も皆洋服だ相なが浦鹽の夫は悉く日本獨特の着物、お下げ髪の女の子が紫の袴を胸高に穿いたのも海外だけに何となく嬉しい、記者が訪れた時は恰度放課の時間と見ね餘り廣からぬ運動場は

◆人形箱でもヒツクリ

返したやうな騒ぎであつたが其騒ぎ振りが又何處までも日本式である、露西亞の人、露西亞の建物、露西亞の街——路傍の石塊にまで露西亞氣分の深い浦鹽に唯一つ多くの日本的色彩を帶びた日本の小學校!、記者は斯く感じた時泣き出したくなる程嬉しかつた、話しは變るが朝鮮の内地人に山口縣の者が多い如く浦鹽には

▼九州人が非常に多い、在留邦人の殆んど三分の二は九州人と云つても好い、九州の中でも長崎縣が一番多く次いでは佐賀縣熊本縣と云ふ順序で福岡縣は割合に尠ない、本州では交通取引の關係か福井縣が首位を占め海外出稼ぎに於ては敢て人後に落ちぬ山口縣は浦鹽では宛で顔色がないと云ふ有樣であるが、好くしたもので在校兒童の縣別が

◆恰度之と正比例して

居る、昨年四月末の調査に依ると全校兒童二百何十名の中最も多數を占めて居るのは長崎縣で九十二名次ぎは佐賀縣と熊本縣であるが之は長崎縣に比べるとズンと下つて何方も二十二三名と云ふところである更に之を父兄の職業に依つて別けて見ると筆頭は大工で三十七名、其次ぎが洗濯屋で三十名所謂商人と

▼裁縫職は共に二十二名で三番目である、夫以下は靴屋廿一名、湯沼十名、時計職九名、ペンキ職店員各四名、料理店會社員醫師各三名官吏二名、教員一名と云ふ順序であるが前の縣別の筆法で行くと浦鹽の邦人は大工が最も多數を占めて居ると云ふことになる、又浦鹽には實際大工が多いので大工さんに限つて

◆特に子福長者と云ふ譯では更々ない、冗談は措て置いて兒童の原籍と父兄の職業が解つたから今度は兒童自身の出生地を調べて見ろ、先づ日本で生れたもの之は流石に多く二百何十名の中百十五名を占めて居るが尚浦鹽で生れて浦鹽で育ち全然日本の國土を知らぬ子供が男女を通じて八十名からあるには驚く、此外は滿、鮮生れが十二名西伯利亞生れが六名其他が二名と云ふ割合だとやら——。(西村生)

◇解氷に氾濫せる松花江=吉林城畔流氷の光景=

汽船難破

淡路丸=對州沖にて 全員行方不明

十日夜汽船淡路丸は帆船一漁船十隻を曳船して朝鮮へ向へる途中對州沖にて難破船員五十餘名全部行方不明なりとの報あり(大阪特電)

揮發爆發

幸徳丸全燒

和歌山縣勝浦町岸[illegible]四郎氏所有船幸徳丸は大阪和歌山間にて揮發油爆發船體貨物全燒せり(大阪特電)

瀆職廿九名

京都の大澤善助氏は十日夜遂に收監是にて瀆職事件關聯收監者都合二十九名となれり(京都電報)

兼二浦騒擾餘聞

▼鮮人團漸く解散 去る七八兩日に渉れる兼二浦大騒擾も瑞興、沙里院より應援隊到着し市内及び三菱工場同鑛山の警備に就けるため一まづ平穩に歸し三菱製鐵所は十日より

◆作業を開始せるが旣報の如く朝鮮人木挽組合員五百餘名は十日午前九時より兼二浦小學校附近に集合結束して其内重立ちたる者數名は兼二浦駐在所に至り鄕山に居住する支那人鑛夫中二百餘名の馬賊團を此際放逐せしめられたく然らざるに於ては我々は安んじて三菱の工事に從事する能はずと申出でしより

◆應援として來れる砂里院警察署長は彼等を引いて懇諭したる上彼等の集合せる場所にも至り集團せる人夫に對しても說諭する處ありたるため一同解散せり

▼娼家移轉を出願 同日午後二時より鮮人側市内有力者十數名は兼二浦商工協會事務所に集合し斯かる騒擾を惹起せる抑もの導火線は鮮人娼家元春熙の家より發したることなれば今後共再び斯かる

◆騒擾を起すべき動機ともなるべき鮮人娼家三十餘戸を市中より隔絶せる場所に移轉せられんことを其筋に出願することゝせり

▼領事の來兼 支那人側苦力は今回の騒擾にて慘死を遂げたる支那人數名の加害者が公明なる日本官憲の裁斷を仰ぎ得ば吾々は毫も不服なきも然らざるに於ては支那領事の

◆來兼を促がして其處置に任すと唱へ居りて表面靜穩と見ゆるも未だ人心平安を缺き全たく平時に歸るには旬日を要すべしと也(兼二浦)

合併相撲門司興行

渡臺興行中の東京大阪合併相撲鳳、大錦の一行は十一日朝大阪商船亞米利加丸にて門司上陸十二日より晴天三日出興業の筈(門司特電)

蝶は花に戯れて

昌慶苑内の櫻は二十日頃が滿開 漸新な若緑は盛々たる春光に色深みて

京城の春も漸く闌ならんとして杏、連翹、躑躅等の花は今を盛りと咲き出で綠の色も一雨毎に深み行きつゝ有るが就中昌慶苑の

♣春の色は 京城市内外の何處よりも濃いやうである、梢燃りたりと雖もまだ冬枯れた姿のまゝの木立の間には上見ず櫻の葉が繁つて清新なエメラルド綠が苑内に溢れてゐる、駒を放つてやりたいやうな若草は肥ゐて名も知れぬ羽虫が飛ぶのも懷しく紫の

♣躑躅が 咲き盛り眼も醒めるやうな連翹が微風にも散ん前に咲き亂れた狀は袷の樣だ櫻は乙女の唇のやうな蕾が羞かみげに綻ぶ日を待つてゐるが、例年ならば二十三四日頃が滿開であるが本年は春が早いため二十日前後と見頃二十一日の日曜は空には花雲靆き地には人波溢れ春の

♣歡樂は 此苑に盡くる程の賑ひを見るであらう、植物園にはチューリップ、シネンシス、アネモネの色も濃く花壇にはパンジ、ライナムタナリヤ、レージ、レヌシヤやどの花が移植され其の匂ひしたうて蜜蜂や蝶が羽音も輕く花に戯れてゐるのさへ見受ける

♣植物園 本館前や喫茶店附近の黃色い絨毯のやうな朝鮮芝も薄い綠をぼかした樣な色を帶びて[illegible]芝生の上に腰を下した爽けき心地は春ならで味ひ知られぬ、動物園は此の頃の

♣暖さに 景氣づき動物は何れも元氣よく象は緊鎖を解かれたので室内を自由に運動し水禽舍の鶴は春くる〳〵と啼ひつれて居るなど特に眼を惹く此頃の入苑者は日曜祭日は四五千名普通の日で千五百名乃至二千名木曜は

♣閉苑日 にも拘らず門前市をなす程で失望しながら戻る人は尠くない

花見時の取締

◇花に浮かれる裏面 ◇のよからぬ事を=

櫻の初め櫻て百花燎爛花の頃を迎へた昨今、人の心も自ら陽氣づいて浮かれ出るやうになつたもので獎忠壇や漢陽公園、南山から昌慶苑といつた京城内外では早や

▼春の 日射を浴びての人盛り賑かい斯樣な裏面には良からぬことも出來易いもので殺風景ながら官憲ではいろ〳〵取締りの眼を光らしてゐる先づ草木を折るもの、掛茶屋の若い女が猥りに嫖客を引き込むもの腹を痛めるやうな飲食物を賣つてはゐないか

▼芝原 などで焚火をする者危險な遊戯をする者、假装してアワて廻る者、躁ぐ者、亂暴する者泥醉して道に寢る者といふやうなことに就いて取締り又は保護に努むることになつてゐる

東本願寺大法要(第三日)

今度の法要は鐵道院の關係で五百キといふ大きな團體はないが、五十以内の小團體は無數にあつて東六條九十七の詰所を初め數十の宿屋は既に滿員して西六條の方へも移つてゐる、例年とは事變り

◎思出多き嚴如上人の法要であり農家は一般に近年の豐作と米價の高きため遠近より參詣の老若男女なか〳〵に多く、先年の御遠忌の雜閙には比ぶべくもないが境内外に建て列ねた[illegible]や五環紋の本山旗など新法主の得度式より盛な位で室間の莊嚴も見榮わかあり東京から歸山後醍醐の

◎對風房 にあつた前法主も内事に移つて朝夕の勤行を缺かさず、當法主新法主と三門主揃つて出座があるので善男善女の隨喜一方ならず念佛の聲は堂内をゆるがすばかりである

乘馬に熱中した妓生の罪

京城漢南券番の一流美妓にて男裝して乘馬に熱中してゐた妓生琴竹事鄭七星(二一)は此の程忠南牙山の資產家某の倅より五百餘圓を捲き上げた罪科で目下未決監に收監取調中なり

モヒ中毒死

全南光州生れの朴泰興(三〇)は此の程入京し知己なる壽昌洞居住の朱貞姓(二〇)を誘ひ遊近したるより十一日夕刻會飲し其の足にて二人は漢南券番の妓生文香蘭(二八)方に行き就寢に先ち兩名は密にモヒの注射をなしたるに貞姓は過量なりし爲め遂に絶命

花と人に賑ふ 福岡の春

=共進會盛況= 觀覽客の雜閙は近く數倍すべし

九州沖繩物產共進會は蓋を開けた翌十一日より大入滿員の盛況で博多灣の烟波を背景に綺を凝め巧を盡した會場の雜物は絢爛たる花と相映じて美觀言はん方なく

◇春の歡樂 は此の内に盡くるの感がある那珂川に沿うて須崎土手町を下れば羅馬風の壯大なる裝飾柱左右に並び其の兩側には百花燎爛たる花壇のある會場の正面に出る

◇音樂隊の 奏樂に誘はれて本館に入れば入場者溢れ館內外の裝飾美々しき狀は眼も絢であり出品點數は五萬點朝鮮五十坪臺灣七十坪を始めとして關東三千區九州沖繩は千二百十一區其外特設館九十二區電氣館二百坪林產館六十坪の振當てで此れが

◇出品人員 八千人以上に達する程の大袈裟な共進會とて開期中の盛況の程は今から思ひやられる共進會場は博多灣の青波一瞬の間に在つて西公園及び志賀の島玄海島白沙青松の海の中道の一大自然の美觀を恣にする事を得、夜は

◇不夜城の 賑ひと化し那珂川に映るイルミネーションの影も美しい花に燃び人に媚び福岡の春は斯て濃艶な裝ひを凝らして人の心を浮き立してゐる(福岡より)

金剛山六景

=を未見の友に紹介= 原色版繪葉書 高木背水氏作

[illegible]

無門會四月例會

無門會四月例會は十三日午後四時より南米倉町京城俱樂部に開催し除訓軒瑞巖老師の提唱あり來會隨意也と

灯ともし頃

▲中村精七郎氏は朝起き上ると十分間づゝ靜坐をするが其日〳〵に自分け毎日十分間は眞人間になるとは面白い▲同氏或人に述懷を洩らして曰く敢て子孫に美田を買うて與へたいので無いが何人も恆產無ければ恆心ないと言ふ事もあるから百萬丈けは遺して置く心意でもうちやんと準備は出來てゐるが▲其餘の資產は實業方面に投下して略最初の計畫通りになつたならば▲多年理想として居た宗教界と操觚界革新のために聊か努力して見たい▲日本に於ける宗教界の現狀を看ると人心日に乖離して權威とす可き中心點がない操觚界も又社會の木鐸として眞に世を益し國に貢獻する者が勘い▲是が革新は什うしても豐富な資本の力に依らねばならぬから自分は將來此二事業のために有ゆる犧牲を捧げる心意であると▲漢陽公園の茶店の女は從來散歩者に對して小うるさく呼かけ風俗紊亂の嫌さへあつたので▲警察署では女供を召喚して以來蛇度愼むやう申渡したが茶屋でも恐縮の餘り爾今一度客呼した女に對しては十圓の罰金を出さす事に申合したさうである

◉誤植 『兼二浦犯人檢擧記事中檢擧六十七名は六十七名の誤植に就き訂正す』

讀者文藝

(一等には五十錢の書籍券を呈す)

▲俗謠『花見』

○船で下れば朱塗の盆が花見茶屋から出て招く(一等) 京城本町四丁目 中村落葉女

▲君がみ名やら私やら何やらまぜて花見の日和暮く 京城 角鬚坊

▲花をだけ見て貰を見ぬ人が今の世間にやたんとある 黃海道 登美子

▲花見もどりが相合傘さとんだ時雨が色に咲く 釜山 紫登奘

▲花の蕾の娘が花のやうに飾つてゆく花見 元山 笑猫

▲去年の花見にひそかに結うた髷も今年は晴れて結ふ 京城 梁謀居長

課題及募集規定

□募集規程 ▲用紙は端書叉は同形の用紙一枚毎に雅號又は姓名の外に住所氏名明記の事▲一等[illegible]

大阪期米

△十二日後場 ▲前場寄附[illegible]錢安に寄付五錢と伸び四錢四節に至り大阪從寄[illegible]十錢三節八十九錢の移りに中十[illegible]錢より一挺先二十[illegible]

仁川米豆取引所 十二日の六月限

◉連絡船上陸客 十一日午前釜山入港[illegible]二三等客 [illegible]

天氣 くもり

慶但小雨 (十二日午後六時[illegible])

日出 六時[illegible] 日沒 七時[illegible]

商況

兵庫期米

[illegible]

東京期米特電

[illegible]

大阪株式特電

[illegible]

大阪三品特電

[illegible]

大阪期米特電

[illegible]

下關期米特電

[illegible]

雜報

◉綿糸布一服 綿糸は手は三百十五 ◉綿布は龍レー十一 圓十錢 ◉銘十一圓二十五 ◉錢と前日の儀を持合 [illegible]

◉内地最近糖況 臺灣現分蜜糖前途の三十圓 [illegible]

◉大豆は不勢 十錢方下押 [illegible]

◉支那棉軟弱 目先尚下押 [illegible]

各地商況

○木浦米況(十日) [illegible]

○馬山米況(十日) [illegible]

風情

[illegible]

◉支那粟軟化 約二十錢方下押 [illegible]

◉内地麥類小高 新小麥 小麥安 [illegible]

◉鮮白下押す 二十錢方下落せり [illegible]

下關相場

[illegible]

京城正米

[illegible]

南大門の廻穀

[illegible]

仁川米豆取引所仲買人 仲買店

仁川海岸町 [illegible]

仁川正米

[illegible]

釜山穀物(十一日)

[illegible]

▲釜山水產市場(十一日) [illegible]

仁川期米

▲十二日前場(保合) [illegible]

三巴仲買店 仁川米豆取引所仲買人

依然保合 [illegible]

市場雜觀

[illegible]

仁川米取引所 十二日の六月限

北濱だより

[illegible]

◇十二日後場
大阪前止め八十九錢後寄未著にて中二十二圓十四錢先二十四錢と二節二十四錢五錢四錢三錢
▲先限一節二十二圓二十四錢五錢四錢二節二十□錢三節二十四錢四……

愉快は愉快だが危險である
捕鯨の根據地は仁川灣外の小靑島

四月五日捕鯨根據地調査の爲め小靑島へ向ふ途中仁川へ寄港せる東洋捕鯨株式會社所屬第二太平丸は七日同地へ迎へり同船長は捕鯨狀況に就て語りて曰く　今回は單に根據地調査と云ふ爲めに出て來たので捕鯨を目的としたのではありません、此の船は每年夏期になると北海道方面に廻航捕鯨に從事する事となつてゐるので今年も五月の末頃にかけては北航の豫定にして居ります、其前に朝鮮附近の根據地調査と云ふ役目ですが

目的地は仁川から
百哩餘り北に當る小靑島

にあるのです彼の附近は捕鯨地として有望な處で隨分居る樣です目下會社の船が出動してゐるのは江原道方面は別として先づ南海岸の方では遙かに大孤山沖から海洋島附近で今でも網わず二隻の捕鯨船が彼方へ行つて居る筈です好漁地と云つたら海洋島附近は隨分多いのですが朝鮮南海岸に於ける根據地を何處に定むるかは行つて見なければ分りませんが先づ漁場の狀況から云つても小靑島が適地であると云ひ得るかも知れません……今年の捕鯨狀況ですか……每年會社は二月を以て其の年の決算をするのですが過日の決算によると例年に比して實に莫大な計數を擧げて居ります一般に鯨は好漁で成績が好いのですが、それでないと此の節の樣に物價騰貴では引合はぬ事になるかも知れません捕つたが最後必ず一々索ひて行つて下關か或ひは博多に陸揚げするのですが群集して居る時には最初に射留めた鯨には其の腹の中に空氣を入れて浮かしたまゝに放つて置きまずそして他の鯨を追擊して二頭位ゐは一時に捕る事もあるのです

何分一頭捕れゝば
二萬圓位はするのだから

一々持ち歸る價値はあるのです愉快は愉快だが又人に見られぬ苦勞をするのは免かれません捕鯨は船積みするのでなく索いて歸るのだから途中で暴風にでも逢つたら、それは酷い目に逢ひますよ。愉快な事と云つたら先づ海洋の眞中に山の樣た鯨の浮いてゐるのを發見した時でせう靜かに近寄つて先づ二十間以內にもなると砲手が一發船首の砲を放つと裝置の矢は飛んで鯨の腹の中に深く這入る矢の尖端には別に砲彈裝置になつた爆裂藥が仕込んであるからそれが腹の中で爆發する如何な鯨も此の一發で參りそうだが時に依ると而して適當な處に當らないと二本も或ひは三本も打ち込まねばならぬ時がある矢尻は鍵になつてゐるから適中つたら決して拔けない其の矢には大きな麻綱が船から繫いであるから之れに依つて牽いて行くのですが

擊た刹那の暴れ方
さ來たら彼の山の樣な鯨

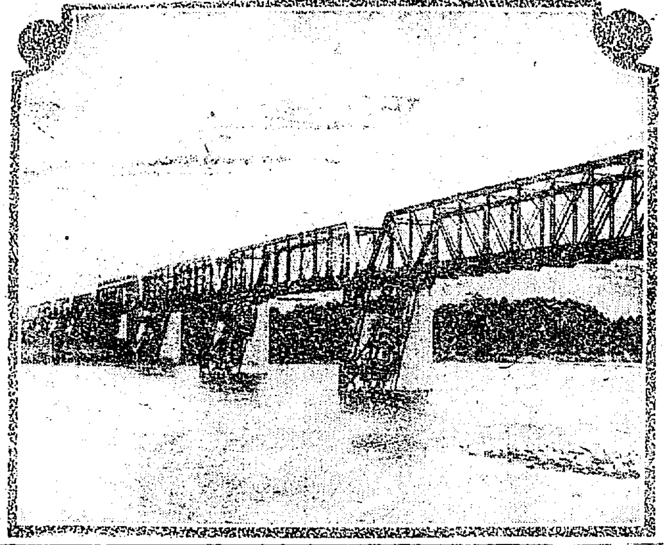
が最後の死者狂ひをやるのだから堪りません却て船を引き廻はす位ゐは勿論時とすると手首大のマニラロップが何の苦もなく切斷る事さへあるのです、それも其筈擊ち込んだ鳥の脚見たいな大きな鐵の矢が鯨の腹の中で散々に曲つて了つてゐるのを見ても如何に仕事が大袈裟であるかが判るでせう（仁川）

鮮銀と安東

◇貸付額既に約五百萬圓◇

昨年來安東縣市場は景氣回復し常に殷賑を極め居れる爲め財界も非狀の大膨脹を來し空前の盛況を呈しつゝあるが尙ほ現時輸移出入の狀況より察するに特產物木材等は益々好氣配を示して殆んど底止する所を知らず顯つて輸移入品たる雜貨綿絲布麥粉なども他地方に比し鴨綠江の水流を利用して搬入する等の便宜あれば解氷後と雖も左したる變調を見ず漸次活躍の狀態顯著なるものあれば安東財界は益々膨脹の一方なるべし今昨年五月の鮮銀貸出額は約百萬圓なりしも正金引揚げ當時即ち同年十一月には約二百三十萬圓に增大し本年三月には一躍五百萬圓に達せんとする形勢なり其の內本年三月の五百萬圓は正金引揚げの結果從來正金に資金を仰ぎ居たる者も自然鮮銀に移りたるためなりとするも是れを詳細に觀察すれば正金引揚當時の貸出額は金約一百萬圓、鮮銀約八十萬圓なりしを引揚げに對する當時の市況其の他の事情より銀は殆ど全部を安東及び貯金（現在の滿洲商業）の兩銀行へ引繼ぎ金のみを整理するものは整理し引繼ぐものは鮮銀に引繼ぎたる結果鮮銀としては安東市民の希望もあり且安東財界の動搖を虞り正金同額の貸出を決行して自己の立脚地を明かにすると共に市民の與望に添ひたるにより一躍一百萬圓の貸出增加を見たるも尙ほ當時合計三百三十萬圓內外に過ぎざりしが爾來財界の好調につれ貸出益々增加し遂に今日の多額を見るに至れりと雖も是れが爲め安東財界の一偶にも些の危險と不健全なるものを認むる能はず益々强固なる基礎の下に進展しつゝあれば不働の大機動なき限り此の貸出は尙ほ若干の增額を見るなるべく一面商工業は一層の繁盛活躍を現出し財界は益々膨脹すべく觀測さる（安東縣）

九州視察團寫眞帖



（久留米筑後川の鐵橋）

滿洲と北鮮
連絡直通航路

今回朝鮮總督府に於て朝鮮郵船會社に對し命合せし日本海橫斷航路は主として滿洲及び北鮮方面と裏日本との連絡を容易ならしむる目的なるが該航路開始以來安東豆粕の輸出同方面を經過するもの既に四萬餘枚の多數に達し該航路船は命令によれば二千噸級と指定せるも該級船なき爲め目下一千餘噸の平壤丸を以て是れに充て居るが元と平壤丸は客船にして荷物は僅々七百餘噸の積載量を有するのみなれば元山に於ける積荷一航海僅々三百噸內外に過ぎず是れを全部豆粕にて充たすも一萬枚內外なれば一箇月二航海とすれば二萬枚以上を以てざる現狀なれば目下安東市場の滯貨四千五百噸內外の多きと每日の生產力一萬枚以上の其れに比すれば殆んど云ふに足らざる輸送力なりと雖も尙ほ是れを以て幾分輸送上の調節を計らざれば該航路の改善に伴ひ滿洲對內地の輸送上一新紀元を劃するに至るや必せり兎に角將來注目に値する航路なるが如し（安東縣）

西伯利亞の奇現象（三）

◇或所は開墾に適すれど或る所は絕對に全く不能◇

曠野帶は北緯五十五度以南にして諸大山脈間に介在する曠野の總稱なり此內バラ、バミヌシン、プラト等の大曠野ありバラバ曠野は泥土質にて春は水分を吸收し夏に至れば即ち腐敗して瘴氣を發す、此瘴氣は甚だ濃厚にして曠野に充滿し啻に人類に害あるのみならず禽獸も之が爲に斃る、瘴氣の草の葉に附着せるは露となりて紅色の斑紋を帶び鹹味を含む、獸類も之を食ひて疫疾を發することあり

◇其症狀極めて
劇烈にして而も且つ險惡なり◇

バラバ曠野は地味沃饒にして氣候溫和なれば斯の如き時疫さへ存せざれば人口繁殖し耕地も開拓さるべき地なり、露國の前政府は罪人を此の曠野に送りて開墾せしめんとせしも時疫に辟易して大半は逃亡し去れりといふ尤もミヌシン曠野は地味肥沃にして氣候も溫和なり故人口著しく繁殖し穀物も盛んに收穫され西伯利亞各地は多く穀物の供給を此地に仰げり、此曠野の中心地たるミヌシンスク府は西伯利亞鐵道の一驛アチンスクより鐵道を通ずることになり居れど未だ開通の運びに至らず

◇プラト曠野は
山嶽に圍繞され地味沃饒にて◇

且つ水流に富めり故に此曠野に住めるブリヤート人は溝渠を穿ちて田圃に灌漑し盛んに穀物を產出し此曠野より出づる小麥は西伯利亞第一の良穗と稱せらる、山嶽帶は西伯利亞の南部と東部とに延長する山嶽地方のにして支那及び

◇日本に近き爲
本邦との利害關係頗る深し◇

此地帶には頭轉森林、タウル、スタノオイ、ヤブロノオイ、黑龍江、カムチャツカの七大山脈連亘し總て森林礦物に富特に金鑛多し

土地調查員募集

關東都督府民政部土地調査課に於ては土地調査の爲め多數の技手を要するも之れを得ること太だ困難なるを以て汎く內地に於て募集することゝし依田課長代理は近々內地に出張する由（大連）

各地財信

◇龍岡（平安南道）
農繁期前で一寸一ぷくの姿

舊歲末歲首を送りてより繁忙なりし金融界も頓に沈靜に赴き且從來出廻り輻輳せし農產品も一段落を告げたれば三月中の金融界は極めて閑散裡に推移せり然し月末に及び結氷期も終りを告げ各種の企業準備及び農業界も繁忙の時期切迫しつゝあれば此等方面の所謂準備資金の需要相當に多きを見たり上述の如く農產品の出廻りも一段落を告げ且季節物の輸入も追々減少せし爲め一般商業界も閑散の狀況を呈し加ふるに農繁期も眼前に迫りつゝあれば一般農民も準備資金の需要を見越し諸物貨買控の爲めに市場は比較的鈍狀態に在り月せり尙ほ九月同樣農產品商值の爲め農民は手許頗る潤澤にして一般健實なる思想を抱くもの多くなり從前の如く亂費するもの減少し經濟界は頗る著實なる狀態なり

◇江西（平安南道）
企業の好況と金融界の活況

春耕の期節に入りて一般農事資金の需要を喚起したる外財界好調の爲め企業的農事施設を計畫する者多く金融活氣を呈すべき狀態を示し而も資金は潤澤なれば圓滑なる融動を見金利の如きも變動なく而して解氷以來水運便を得て穀類雜貨等の集散は頓に增加し取引は依然殷盛に昇り一般商況は各市場共に殷盛を極め物價は依然奔騰を保ちつゝあり木綿石油等は時期經過に伴ふ荷動き著しく減少せり

恩を仇の拐帶

◇救ひ上げて飛んだ災難◇

安東縣江岸通二丁目材木商浦元猷庸氏方雇人自稱京都市方市貿通千本木東へ入る二丁目六十九番地鳥山嘉一郎こと平井謙次（二七）といふ小僧は三月十八日友達の小泉金次郎と共に滿鮮に好い仕事もなと母より三十圓の旅費を貰ひ故鄕を出發して途中平壤に立寄り知邊を搜せしも見當らざるまゝ安東縣に來りしが此のとき旅裝を全部費消し途方に暮れ其の筋へ保護を願出でたるを前記浦元材木店にて雇入れしが其の恩を仇に十日午前十時頃主人の小切手にて安東銀行より金二百圓を引出したる上店の自轉車に飛び乘り其儘何れかへ逃走し行衞不明となれる由（安東縣）

拐帶犯捕はる

◇其後平壤署の手にて◇

前項安東縣の拐帶犯平井謙文（二七）は十日夜平壤驛へ下車する處を平壤署員の手に捕へらる（平壤）

三年經てば生きた鮭が
＝平壤で捕れる

◇今でも鮭の仔が泳いでゐる◇

平安南道廳に於ては昨年十二月成鏡南道永興より鮭の卵二萬個を取寄せ勸業課技手西原農學士主任となり廳舍の南方に三坪餘の家屋を建て之を孵化場と爲し屋外に作殼て池を造りて

◇人工孵化を試み◇
◇至極良好なる成功を示して◇

目下一萬二千尾の鮭の仔が生殖して中に泳いでゐる長さは一寸五分位に成長して中々元氣で敏捷しく西原技手の談に依れば此月の中頃には牡丹臺の下に放ちて養殖するのだが鮭と云ふ魚は北海道では六ケ年目に產卵する朝鮮では三年位で產卵するが產卵期に成ると又元の放たれた場所に歸つて來て卵を生みつける此時期に至れば

◇愈々吾人の膳に
上す事が出來るのである◇

此試驗的養殖が甘く成功すれば平壤でもきた鮭が食べらるゝと（平壤）

台所日記
◇鮮し慈姑◇

慈姑の鬚を少し殘したまゝ皮を剝き卸金で卸し水離の水に少量の小麥粉を加へてよく捏ぜ合せ更らに之れを程よい大きさに丸め充分熟した胡麻油の中で揚げ白紙の上に取り出して油を吸はせこれを笊に入れ上から熱湯を注ぎかけて油氣を拔いておき鍋に鰹節煎汁と砂糖と醬油とを程よい加減に合せて入れ火にかけ一と沸かしして下ろし此の中へ前の油氣を拔いた慈姑を浸し汁氣を去つて皿に盛ります

遠近男女誰にも出來る輸出パナマ及ゴムの職業有原料貸與製品永久買受契約す利益熟練一圓五拾錢迄稀實詳細案內書御一報次第進呈す
原料貸與　職業　代理店募集
大阪本町信濃橋東詰（振替一〇二〇〇）東洋物產合資會社

目ニ見ヘテ　ズンぐトキク　シユマズイタマヌ
井上博士　ロート目藥
眼病を、不潔い布や頭で擦るのは目の爲に惡いからロート目藥には消毒した布と下圖の樣な新案の點眼器を添へてある
◎全國各藥店にあり　定價…（點眼器附）
發賣…東京…大阪…山田安民藥房

天下一　增本酒店　仁川本町三丁目　電話一〇九

寫眞　京城日報社寫眞部

諸病治療　◯隔接◯遠隔◯出張◯治療聽器
◯規則書無代進呈
哲學療院　釜山土城町一丁目八番地　院長哲學士　江藤旭洲

人體の最高靈藥たる

開城朝鮮高麗人參　總督府專賣局所管地產出の正純粹のものにして破格の廉價を以て提供せり
◯眞正高麗白參　一箱五圓　◯同　三圓　◯同　木函、ボン函、二圓　◯同　一箱壹圓
▲其他各製品及白參紙包斤賣大販賣
▲開城高麗參業社製品
全國一手販賣　京城太平通り一丁目　京城日報社代理部　電話長三二六、構內一八番　振替貯金口座京城三〇〇番

清心丹　懷中要藥　自衛の爲の
一赤痢、コレラ、腸チブス等ノ豫防　一風土變リ、水アタリ、時候アタリ　一宴會、集會、雜鬧の場所にて起る容体　一食後常用せば消化を進め胃腸を健にす　一運動競走、又は旅行を使ふ時　一心神鬱結したる時　一汽車汽船等の不快　一過酒過食、食アタリ　一嘔吐、下痢、胸腹痛
東京日本橋元大坂町　高木與兵衞　振替口座東京四六八

外科花柳病　內科婦人病　入院隨意
醫學士　齋藤勇　醫士　齋藤豐次
京城本町五丁目稻荷座前　大和病院　電話二〇一二番

ゲンツウガン　健通丸　センナニラヅス　よくつうじる
▼健通丸が必要なる譯▲
便祕は胃病を起し腦を犯し頭痛神經痛或は婦人病を重らす抔其害毒は甚だ恐るべきである然るに健通丸は此恐るべき便祕症に對し可驚効能有る良藥である
各地藥店にあり
大阪市　鋪　參天堂藥房

りん病　はい毒　ルーデサック
京城永樂町二丁目交番北　ドラッグ商會本部

花柳病外科專門
◎梅毒◎痳病◎泌尿生殖器病◎睾丸病◎肛門病◎皮膚病◎婦人病◎神經衰弱ヒステリー
京城南大門通農工銀行裏　司生堂醫院　電話三〇六五番

女中募集
十五歲より三十歲迄
漢江畔鳳山遊園地入用
希望者至急來談を乞ふ
京城旭町一丁目　丸萬　電話一五九三番

最新刊

朝鮮總督府編　大正七年　鑛區一覽　定價七十錢
……
朝鮮總督府職員錄　大正六年一月現在　定價六十五錢
……
金剛山植物調査書
大阪屋號　京城本町……

李王職御用　模範牛乳　ニウソ洗粉石鹼
京城蓬萊町四丁目　東亞牧場　電話五二一番

妻チウ儀急病にて本日午前七時死亡候條此段辱知諸君に訃告候也
大正七年四月十一日
京釜線大田
夫　中村藤太郎
親戚總代　中島德應
友人總代　青山貞次郎

塚原卜傳

第四十三席　悟道軒圓玉口演

船が岸を離れたから驚ろいたのは森軍内兵衛　軍「コレ〳〵早く船を著けろ、何で其方へ開く」小太郎笑つて　小「コレ國家を治め己れの身を護る大切の武藝だ、人中で自慢高慢妄りに吹聴をいたす愚鈍者、左樣な者を對手にして立合をする拙者でない、貴樣は何うでも勝手にいたせ此方は構はず此所を離れる、之れ即ち此方の勝だ、無手で勝つから無手勝流、何うだ合點が參つたか、以來人中で武藝の自慢はいたさぬが宜い後から船が來るだらうから、來たら頼んで乘せて貰へサア、貴樣の手荷物は此處にある其れへ投てやるぞ、ソレ受取れ」と荷物を取てポーンと投げた　小「サア船頭櫓は返す、サッサと船を遣れ、アンな馬鹿武士を乘せて置くと終ひに何をするか知れない、萬一町人や女共に怪我でもさせるやうな事があつてはならん、サア〳〵早く船を出て終へ」之れを見ると一同の乘合が　○「成程貴人は恰悧な人だ、何うだいアノ武士を一杯食はして陸へ上げて船を離して了つた旦那何うも旨くおやんなすつたね、眞實に無手勝流だ、皆へ名前をつけてしまつた　小『貴樣達も能く覺ねて置け、武藝の極意は決して危ふきに近寄らぬを以つて良しとする、道を行くにも淋しい所を行くより賑やかな町を選んで歩けば間違ひない、アノやうな馬鹿者が來たら逃げて了ふに限る、君子は危きに近寄らずとは此事だ、分つたか　○「恐入ました　へエ成程御尤もで、君子は危きに近寄らずでございますね、私共は好んで危ふきに近寄たがるから喧嘩なんぞするんだ、以來旦那樣を見習つて無手勝流にすることだ　どうも結構な流儀だ」船中ヤンヤと賞めて居ります島に上つた武士は　軍「ヤア卑怯だぞ、己れ逃げるとは不屈な奴、船頭早く船を戻せ、船を寄せろ」いくら怒鳴ても船頭は一向平氣で　船「何うでも勝手にしろ、跡から船が來たら呼んで助けて貰へ、今に潮が一杯差して來ると島へ被さつて見ねなくなつて終ふから、事に依るとお前ぶん流されて土左衛門になつて終ふかも知れねね、アハヽヽ、今の中に念佛でも題目でも唱へて置かつしやい　軍「何だと、潮が上つて來る、イヤ其れは大變な島だ、コレ船頭船を返せ」と地團太踏んで頻りに騒いで居るが一向船頭頓著なく、其所を次第々々に遠ざかる、船中一同手を打つて面白がつて居る、小太郎元の處へ來て坐して居ります其中此船の川口へ著いて此處で下る者もあり、乘る者もあり、又此處を出帆して紀州と淡路島の海峽を通つて、紀州洋へ差懸つて來る水天彷彿として際涯なき大洋、打寄せる浪が熊野の斷崖絶壁に當つて潮濶著く名代の難所、併し幸ひに結構な日和つゞき乘合一同喜こんで小太郎に酒肴を勸める者もあり、武藝の話を聞く者もあるが小太郎自慢話しなぞは決してしない、當り障りのない世間話しなぞをして居る、所が舳の方に居りました山伏、之れは川口から乘つた人、一人で瓢箪の酒を飲み、笈の中から重箱を出して煮染なぞを喰べながら四方の景色を見て居たが堪ねて胴の間へ入つて來て　山「エヽ、僕も一つお仲間へ入れて頂きたい、旅は道連世は情けといつて誠に一人では淋しくて酒も美味くない、一つ献じよう」と盃を出した　○「サア〳〵此方へお出なさい、一人でも多い方が話が賑やかになる、マア酒は此方にもあるから…　山「イヤ之れは池田の諸白、名代の美酒だ是非献じたい、私も頂戴するがマア一つ是非飲んで見て下さい」と差した盃、町人喜こんで受けたが塚原は目も離さず件の山伏の顔をジツと見て居ります

院長　醫學士　森定吉
（美容院改め）
内科小兒科　森病院
入院隨意
京城明治町二丁目七五　鶴田醫院跡　電話二六二三番

暦　四月十四日　日曜　九紫　舊三月四日　辛卯

演藝案内

大正館　櫻井町　電話八七三
○當る十二日より特別大寫眞
○實寫『英國最近の状況』全三卷
○戰劇『飛行水雷』全五卷
▲米國キーストン會社作品　滑稽活劇『アンブローズ奮鬪』二卷
○舊劇『今戸大八』全三卷

浪花館　明治町一丁目　電話二六〇番
▲初日以來連夜大好評
東京浪花節會幹事　桃中軒如鳳　同　吉川小善次
▲忠孝千種物語

壽座　京城壽町　電話五七八番
第一　連鎖劇
第二　新喜劇
第三　攝州合邦ケ辻
第四　人形劇

黄金館　電話二六三七・二二六六

有樂館

日本一　最上清酢　マルカン印

ほまれ味噌

龍　上醤油　日本醤油株式會社　京城出張所　電話二四五番

桃谷研究試驗所創製

さくらいろ

美顔ユーマー

薄櫻色の鮮かに美しい顔色と……美顔ユーマー

第一回の使用　ユーマーを唯の一度お用ひになるだけでもその一日の顔色の美しさ、氣持の好さは何とも申されません。どなたにしても、ユーマーのこの作用には驚かずに居られません。

二回、三回、四回　度重なるにつれユーマーは漸々獨特の作用を現しますいつ見ても、見るから氣持の好い、鮮かな、美しい顔色は、實に美しさの頂上で御座います。

化粧下と荒れ止　この外にも、ユーマーが化粧下及び荒れ止として此上なく良い事は、一度お用ひになつた方々の御承知の事で御座います。

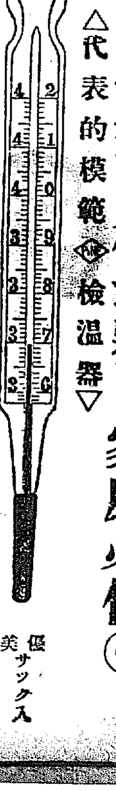
無垢な子供の皮膚の様な　あの汚れのない、シミや荒れなどを知らない、愛らしい、眞から綺麗なあの樣な色艶を保つて容貌の美しさを發揮すには、優秀なる美容液として、學理上にも實地上にも、疑ふ事の出來ない作用を持つてゐるユーマーほど適當なものはありません。

美顔白粉、美顔水、美顔ユーマー、白色美顔水、美顔洗粉、美顔石鹸、美顔クリーム
發賣元　桃谷順天館
東京市日本橋區本町四丁目（電話本局二三〇・一六二六・一六二七番）
東京市麹町區有樂町一丁目（電話新橋二六三九番）實驗部
大阪市西區靱南通二丁目（電話土佐堀六四七・六四八番）

腦病神經病
男女壹
滋強丸
實効
東京築地二丁目　タイガー商會

資本金　壹百萬圓
積立金　參十一萬五百圓
株式會社　朝鮮商業銀行
京城南大門通一丁目
一般銀行業　倉庫業
銀行長　趙鎭泰
支配人　豊田明敬
南大門支店　本町支店　仁川支店　平澤支店　群山支店　東大門出張所

◎發熱と檢温器＝家庭必備◎
△代表的模範PINE檢温器▽



朝鮮總督府醫院檢定證附　定價特製壹圓四十錢　郵税十二錢
優美サック入
本品は時代の要求に喚醒せられ多年苦辛考究の結果製作したる良品にして彼の精巧無比と誇れる獨逸製を凌駕し示度の正確と技術の優秀なるは本邦幾多製品中の模範的逸品たるを證す加之價亦廉也乞ふ眞僞は現品に徴せられたし
商標PINE
パイン檢温器發賣元　京城日報代理部
京城太平通　振替京城三〇〇　電話長六六〇・三二六

汽車發着　京釜線（南行）（北行）　京義線（南行）（北行）　京元線　仁川線

京城日報

第五版

十三日朝刊 (朝夕刊を併せて八頁)

發行所 京城太平通一丁目 京城日報社
發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 小川三之介

京城日報 獨逸の死力

去月下旬獨軍大攻勢を取りて進みたれども、攻進五六日にして遂に阻止せられ、世間其攻進經畫の失敗に歸したるを指笑したれども、最近再び其攻進を開始し、英佛軍の接續點に向て楔形を成して突進し、飽まで進勢を貪ぼりて已まざるの姿あり。蓋し獨逸の資力既に盡くるに垂たり、其國民亦長期戰役の痛苦に堪へずして、革命又は內亂をも企て兼ねまじき形勢あり、故に獨逸皇帝の政府より之を觀れば、手を拱して革命又は內亂に倒れむよりは寧ろ進みて英佛軍と戰つて倒るゝに若かず、是れ其の最後の奮鬪の甚だ壯烈なる所以なり。

去月下旬以來の爭鬪の經過に就て之を觀るに、獨軍は其精鋭を西部戰線の一方に集中し、其豫備隊をも斯に輻輳し以て必死的突進を開始す、其志一たび定まる復た踵を旋らさゞるなり、英佛軍の退きたるは則ち此鋒鋩を避くるが爲めに外ならず、去月中數ば英佛軍聯絡點を突破されたりといふ電報に接したれども、其實は突破されたるにあらずして只後退したるのみ、從つて獨軍楔形を成して突進し來れるを以て、我味方にして相當の準備あるは其兩側面より敵軍を掩撃し得べく、危險は寧ろ敵にありて味方にあらず、然るに我味方の掩撃未だ行はれざるに先ちて、敵軍再び攻撃を開始したりと云ふ、或は敵軍の增援を得ること甚だ早くして、我味方の攻勢未だ成らざるを窺うて萬一を僥倖せるものならずや。

併乍ら所謂楔形突進なるものは其れ自身は甚だ無益の業なるのみならず、亦餘りに冒險的なり、老猾なる獨逸軍人豈之を知らずして此事を擧ぐるものならむや、彼蓋し以爲らく先づ英佛兩軍の接續點を突破し了りて、而して後に兩軍の一方を强壓し、之をして困憊する能はざらしむるときは、以て戰爭の終局を見るを得べしと、而して近報を綜合するときは、獨逸は其の佛軍に對する處に於ては專ら持久策を講じ、塹壕を作り、壘塞を固くして以て自ら守るの計を求め、其の英軍に當る處に於ては急攻力進一呼吸を與へざるを期す、乃ち敵軍の方略の存する所は是に由て之を知るを得べく、英軍の左翼を强壓して之を海岸に斥け自らカレーを衝いて英軍の水陸の連絡を妨ぐるを以て、其の主一目的と爲すものたるや論なく、我が味方にして其豫備隊の活動を開始し、增援軍續いて至るは、獨逸の此經畫は根本より覆さるるのみならず、其全軍を危地に露して英佛軍掩撃の目標たらざるべからず。

或は獨逸の損害五十萬を越ゆる能はずと爲すものあり、併しながら今日の獨逸は最後の死勇を致して萬一を僥倖するものたり、其損害の大小の如きは固より其の問ふ所にあらず、彼にして其武器彈藥の用ふべきものある限り、攻進を試みて已まざるや言を待たずして、即ち是れ獨逸の最後の奮鬪なり、世間戰局終結に近づけりと爲すものある亦故なしとせざる也

遊支偶錄

藤峰生

(七) 支那古典の研究

善言者は、善行者にあらずとは、支那人の格言也。此れは是れ特殊の場合に、應用す可きものにあらずして、支那人一般に適用す可き名言也。されど其の善く行はざるが爲めに、善言たるの價値を損せざる也。儒教の如き、禪學の如き、支那に發原し、若しくは支那に大成したる教訓の、却て我が日本の智識階級に、善く行はれたるは、必らずしも吾人の指示を、俟たざる可し。吾人は支那人が、其の祖先の教訓を、閑却したるの故を以て、併せて其の教訓の價値を、疑ふ可き理由なき也。若し世界の文明に貢獻したる、分量を數へん乎、支那は決して希臘、羅馬に下らざる也。就中先秦の文字の如きは、人生の寶庫にして、殆んど無盡藏と云ふも、溢辭にあらず。吾人は支那に於て、新學の流行を喜ぶも、此れが爲めに、支那固有の學問の衰微を、痛嘆せざらんとする能はず。否な先秦の文字の如き、纔かに其の文學的技巧を觀賞する者以外には、數百年殆んど、之を忠實に講明したる者を見ざるを慨とす。惟ふに周秦より、兩漢に至るの諸子概ね奇闘超絶ならざるは、稀なり。特に尚書の如きは、世界中帝王學！若し此の如き名目を附するを得ば！の最好教科書にして、韓非子の如き、亦た政治的知慧の結晶と云ふも可也。其他歷史としての左傳、史記、哲學としての老子、莊子、詞賦としての詩經、楚辭、何れか其の天地間希有の產物たらざる可き。宋儒性理の學、淸儒考證の瑣、何れも學問の旁徑に迷うて、其の大道を閑却せり。吾人の希望は、新たなる知識と、新たなる方法とを以て、此の古き先秦の文字を、研究せんとするにあり。蓋し支那學問の興隆は、興亞の一大長策也。吾人が白皙人種と競爭するは、單に武力の一方面のみに、限る可きにあらず。吾人は多くの軍艦を設け、多くの軍艦を作る以外に、此の東洋學問の中樞、若しくは中樞の一たる、支那古典の研究を以て、必需の條件と認む。由て此の研究の共通は、繼ぐて日支兩國を精神的に、提携せしむる觸媒物たるを知らば、日支兩國の識者は、必らず吾人が此言に、首肯する所あらむ。

九州視察團 (出發準備愈々完成)

福岡市開催 九州沖繩物產共進會觀察
久留米市開催 全國發明品博覽會見學

花笑ひ鳥唄ふ陽春四月費用と時間を巧みに節約し九州各縣官民の懇切なる優待と驩迎に浴しつゝ花實併有の視察を爲す我社主催の新九州廻遊視察團は愈々來る拾五日京城出發南下す會費は僅に八拾圓「思ひ立つ日が吉日！」再び來らざる好機を逸せず奮つて參加せられよ

英米に於ける製鐵業の趨勢(十)

然れども爰に注意すべきは米國の競爭に關する誤りたる觀念は之を避くべきこと是れなり二十年前英國の新聞紙は米國の財源、熟練、能率等に關する誇張的記事を掲載し米國は殆ど英人の手を觸れ得ざる廉價の鋼製品を以て世界の市場を充溢すべく又英國の鐵と炭に關する富源は殆ど盡くるに垂んとしつゝあれば英國工業界の破產を見るゝ當に遠きに非ざるべしと言へり英國の製鐵業が獨國に凌駕せらるゝに至りたるも是等の誤解が與つて累を爲せるものなり然るに所謂米國貨物の侵入は遂に事實となつて現はれずして開戰前の十五箇年間に於ける英國鐵鋼の輸出は米國の二倍に對し英國一磅の割合なりき當時米國の製造力は英國の製造力を凌駕すること大にして加ふるに急速の增加を遂げつゝありたるに拘はらず其の輸出取引に至ては甚だ少なからざりき是れ米國に於ては鐵鑛と炭鑛との距離甚だ遠く又生活程度の高き結果賃銀給料の如きも法外に高く且海運の利を有せざるに加ふるに世界の主なる市場が遠く米國より隔絕せること等幾多の不利なる理由を存したるに由る故に其の內國市場に於てこそ米國製造業者の取引は躍進的に進歩しつゝあるに拘はらず輸出に於ては『タイプライター』自動車の如き一二の特種品を除き其の他は殆ど何等の進歩を爲さゞりしなり然るに右にも拘はらず當時米國の競爭力に關する誤解は英國投資者をして怯懦ならしめ製鐵の改良擴張の如き新設備に關する資本金の募集等の如きも[illegible]に不如意のものありて開戰の前年に於ける產鐵額は一九〇〇年に於けるそれと殆ど伯仲の間に存せり然るに獨國は此の機を利用して急速に突進し十五箇年間に其の產出額を二倍し又輸出額を五倍したり之に英國を後へに瞠若たらしめたり然れども英國が獨國を打破するは反掌の易きにあり米國に對して其の生產力に於て既に一歩を輸しつゝある英國の關係より其の競爭上懸念を抱く者之あるべしと雖も戰後は米英兩國共に巨額の取引は兩國の方面を異にし米國は專ら內地市場の取引に忙殺せらるべきによりて英國は其の間に於て輸出取引の地域を拓し同時に其の生產力の增加に努むるを得べし成功の秘訣は確信なり確信は其の國人が其の國の資源と力量とに對し適當の尊敬を有するにあるなり(完)

兵力相匹敵す

アミアン攻防戰

△兩軍兵力の集中 獨軍は今や歩一歩アミアンに近接しつゝあり彼は尠からざる損害を補ふに新軍を以てせずして全く他方面より其豫備軍を續送し來りし形跡あり客月廿一日攻勢開始當時より約廿萬の兵數を增し少くとも現時九十餘箇師團を算するに至れりと推定せらる一方聯合軍側に於ても有らん限りの大兵を敵前に集中しフォック總司令官の指揮の下に應戰の陣形を張り從來敵に比して約三十個師團の兵力不足し居たりしも今や佛軍四十個師團英軍約五十個師團に增加したれば兵力に於ては彼我共に匹敵し得べく互に優劣なき兵力を擧げて最後の雌雄を決す可きの秋は迫れるなり

△未だ小競合のみ アミアンの設備陣地を除いては現戰場は敵味方共に所謂鐵とベトンとの掩護物を有せざる赤裸々陣地なり實力の爭ひ肉と膝と膝との平押しの戰ひなり四日より起せし獨軍攻勢はアヴル河の西方に僅かなる進出を見たれども未だ決定的攻勢を取りしものに非ざるが如く正面十五基に亘る小競合を見るを至當とす要するに目下獨軍は進退兩難の位置にあり進んでアミアンを攻略し得ずんば退いて全軍の大退却を行はざるを得ず獨軍死中活を求めて獅子奮迅其企圖を遂行せんとすべし之に對し聯合軍は此の狂へる猛獅を陷穽に誘ひ其息の根を止めんことを期せり若しアミアンにして奪取せられんか英軍は南北に斷たれ聯合軍は頸部を失はれたるの外なけん此大戰に於ける無慘なる敗者たるの外なけん彼我兩軍共に互に其の最後の力を盡し智を計り盡して緊迫の度最も高潮に達せるも又た宜なりと謂ふ可し(十日＝東京)

最新朝鮮地理

桑島藤戶計太著

四月十六日發行 總クロース金文字入八百五十頁 定價二圓 郵稅內地十二錢 外地三十錢

本書は大正二年十二月の道府郡行政區域の改正及其後の各道に於ける面洞里の廢合新設に依る最新の朝鮮地理書にして道府郡面洞等の所在を一目瞭然ならしめ內容豐富なり

一本書は第一編全道に於て沿革、位置、境界、地勢、氣候、產物、人種、族制、民籍、戶口、言語、文字、風俗、宗教、教育、衣食住、行政(附總督府及附屬官衙表)財政經濟、產業、商業、交通等を記し

一第二編各道に於て沿革、位置、境界、地勢、氣候、行政、財政、經濟、商業、交通、戶口、著名、山河、島港灣等を記し

一第三編各地に於て七百餘ケ所の沿革、位置、地勢、交通、商業、產物、戶口表、官公署、學校、會社、組合、銀行、神社佛閣、殿陵、町名、名所、舊蹟、古戰場、温泉等を記し加ふるに行政、教育、農商工業及金融商業交通に關する實用的各種の參考表を以てせり

一本書は附錄としてアイウエオ別道府郡島面索引及內地、臺灣、關東州、樺太の地名表(及五十音別目次を追加し)母國殖民地間の連絡を知らしめ母子國間連續旅行者の便を計れり

一本書は內鮮人を問はず官民を論ぜず朝鮮に於て公私諸般の事に從ふ士の執務上必要なるは勿論事業經營上の最良指導者たり旅行者の最新案內者なり

一本書は各種學校各官衙各銀行各會社に最も關係多き著名地の必要なる各般の事項を蒐集せるを以て各官衙各銀行社會及各種學校講習會の良參考書なり

一本書地名には朝鮮諺文を附し日本假名を以て內鮮音讀を附加し國語朝鮮語の連絡を知るに便し引いて字音の關係に依り內鮮關係の密接なるを明白ならしめたり

一本書は案內中肯を得て取捨宜きに適し讀者をして通覽一過直に半島各方面各地の事情を遺漏なく曉らしめ行政、教育、鑛業、農業に商工業に金融經濟に運輸交通等に便し遺憾なからしめたり

一本書は朝鮮を經綸せんとするものゝ調査研究資料を供し事業計畫實行に當り又旅行せんとするものゝ爲に充分なる良指針たり又旅行者探險者をして安全にして確實なる進行をなさしめ海水を踏破するの危險なからしめたり

一本書は名山麗水、名所舊蹟、古戰場等に關する詳細なる調査研究資料を供し遊覽者の探勝歷史家の研讀に便せり

一本書は資料に富むのみならず全編八百五十餘頁文を揷むは卷を覆ふ能はざるを避け加之ならず座して各地の事情に精通するを得べく全道諸般の事項に當り安然に活動せしむることを期せり

一本書は資料を併せ周到にして序次懇切を極め詩歌を各所に配在し讀者をして多趣ならしめ大方の期待渴望に負かざらんことを期せり

好著なりとす 朝鮮の事情に精通せんとする有志者は速に本書を購求して座右に備へられんことを望む朝鮮地理の蘊奧は本書に依りて腦裏に蓄積せられむ

發行所 大阪屋號書房 京城太平通二丁目 振替京城三〇〇番
取次所 京城日報社代理部 日韓書房 ウツボヤ書店

常平庵主人著 朝鮮之古錢

二 發行所 京城 ウツボヤ書籍店發兌

本書は朝鮮の古錢に關する唯一の發行物にして全部實物古錢を添付す
▼好古家諸氏に便する爲特に各頁に朝鮮、支那、日本の年代及び記事を秩序的に記す
▼歷史の參考品高麗朝の遺物として朝鮮を代表する絕好記念品なり

實物古錢添付 廿二個付 金一圓廿錢 送四錢 / 五十個付 金四圓 送八錢 / 六十個付 金五圓 送八錢

裡里新町 萬年筆商 早川梅次郎
右者當店名義を詐稱し頗る粗惡の萬年筆を持廻る由當店と何等の關係も無之に付此段謹告候也
東京パイン萬年筆京城製作所 東京 京城旭町

軍隊 鐵道 拂下品販賣
被服、袴下、手袋、靴下類一切
當店特製品賣出向 細セル脊廣三揃、通用品鬼せる脊廣三揃並に詰襟、紺へル及綿洋服共其他新調品特に勉强御相談に可應候
△中古品洋服類一切
新古男女御衣裳多數取揃有之候條不拘多少御注文奉願上候
諸官衙拂下品和服洋服商
龍山元町二丁目 奥市 金子商店 電話長一〇五番 振替京城三八一三

輕便副業
安全有利の良法を授く
愛知縣神守局區內 西澤久仁

中央巢礎
最新式一時五房付 蜂群彼歐純蠟製品
當分左記特價提供 一封度(ラ式長框八枚)壹圓 十封度以上毎封度 五十封度以上毎封度 但荷造送料實費 京城府苑洞三四 製造販賣元 中央蜂園 振替口座五三八番

京日案內
普通 一回前金一番外一回前金 五十錢
[illegible]
◎女中 年四十前後奇麗好キノ[illegible] 南山町元松岡病院前 內外證券061
印刷業に經驗ある 外交員 數名募集 給仕 日韓印刷所 明治町一 647
店員入用 二十二三歲迄 十七八歲より 但し市內に身元保證人要二名 京城本町一丁目 平田商店 650
支那山東省特產 萬種子物商老舖 川上洋行 御一報次第定價表進呈す 657
◎ほねつぎ 一切の治療御依賴に應ず 明治町 柔術道場 611
年金恩給 最長期 低利 安全 四年半迄保險 要 商品陳列館 前 江州屋本店 264
恩給年金立替 二年分迄無保險 京城若草町 國江商會 629
店員入用 十七八より廿四五迄 希望者來談 保證人 仁川新町 電話七六二 津田兄弟屋 656

緊張せる英議會

ロイドジオジ氏の大演説 愛蘭徴兵案討議

十日英國の下院は徴兵案を愛蘭に擴張施行せんとするロイドジオジ氏の演説に依りて非常なる緊張を見たり、ロイドジオジ氏は先づ獨軍が第三第五軍團の間を突破したりし當時の險惡なる危機に就き詳述し此危機より脱したるは一に整然として亂れざる我退却の成功なりとし佛軍豫備隊の行動の迅速なりしに對し讃辭を述べたる後敵はアミアンを目的としたりされば我軍の安全に就ては假に保證し能はざるを以て援兵は急派されたり而て斯かる短時間に斯かる多數の軍隊をして海峽を越わしめたる事は未だ之れ有らず聯合軍と米軍とは混成して編隊さる可く全聯合軍の指揮は一層振興さる可しと説き喝采を博せり首相は更に述べて曰く吾人は長期戰を覺悟せざる可らず吾人の前には尚ほ續く可き七、八箇月あり英國は既に六百萬の士卒を戰場に立たしめたり吾人は將來を見ざる可らず獨軍は千九百廿年級の兵を徴して其戰線に五十五萬を増加したり現在英國にては千九百十九年度豫算員最少員數の四分の三以上を徴兵したり政府の提案として第一に軍隊服役年限を五十歳に、特殊の資格及び熟練を有する者は五十五歳に延長する事服役免除を廢止する事にして皇帝陛下は刻下の危機に際し服役免除を總て撤廢する旨布告さる可しと、首相は更に愛蘭に言及し此の國家大事の際愛蘭の徴兵除外を正當とするは不可能也と是に對し滿場の喝采暫時止まず首相は續て曰く戰爭は英國の戰爭にして又同じく愛蘭の戰爭なり米國に於ける愛蘭人は愛蘭に於ける夫よりも多し而して彼等は米國の徴兵令に服從せり大英國に於ける愛蘭人も亦徴兵令に服し加奈陀に於る彼等も同樣なり愛蘭の二十歳より二十五歳迄の壯丁が等しく彼等の興廢問題に對して立たざるに單り英蘭、蘇格蘭、ウエールスの十九歳の青年より既婚者及び家族ある五十歳の男子に向つて戰爭を要請するは理由なき事と謂はざる可らず故に大英國に於て同條件の下に愛蘭に對し徴兵令を擴張せん事を提議すと 此時愛蘭議員席騒然として如何なる犧牲を拂ふも愛蘭は服務令を承諾せずと叫ぶ者あり、首相此問題は遲延を許さずと酬いウイリアムオブライン氏起ちて這は愛蘭に對する宣戰の布告なりと疾呼し首相、政府は速に愛蘭自治案通過を議會に諮る意思ありと述ぶるや此時議場再び騒然、夫れには及ばずと怒號するものあり、首相曰く誤解する勿れ愛蘭自治案と徴兵案とは別箇に討議せられざる可らずと、斯くて政府案は八十に對する二百八十九票の多數を以て第一讀會通過せり（倫敦特電）

對獨英軍行動辯護

レピングトン大佐はモーニング、ポスト紙上にて過般獨逸大攻擊の當時に於ける英軍第五軍團の行動を辯護したり曰く當時佛軍よりの懇請に依り在佛國英軍司令官が英軍戰線は微弱に失すと度々謂ひたるに拘はらずオアズの南方に戰線を延長せり第五軍は一月二十日延長四十哩に亘る戰線を占據したり、我將卒は鐵條網の設備と塹壕用意との爲め非常に多忙を極めたり、獨軍が第三、第五兩軍の間を突破せる際第五軍は敵步兵五名に對する一名其他の敵兵二名に對する一名の割合なりしを以て敵を粉碎せんよりも敵襲を撃退するを主としたり優勢なる大部隊と闘ふに當り或部隊が路を開く事あるは已むを得ざる事にして唯だ第五軍は全部として決して破壞せられずハヒカンに亘りて戰線を支持し佛軍來援の時間を與へ砲三分の二を後方に運び去れりと（倫敦特電）

對日反抗命令内容

西伯利中央執行委員會は全員列席の會議に於て日本兵の浦鹽上陸に關する討議の後左の決議を可決し是れを同委員會の命令として直に浦鹽へ移牒せり、日本軍の浦鹽上陸の原因たるや何時勃發するやも圖られざるが如き小事件に過ぎざるを以て斷じて是れを許容す可らず依りて西伯利中央執行委員會は是れに對して抗議す 西伯利に於ける勞働者及び農民は西伯利の領土を占領せんとする日本人の如何なる企畫に對しても極力抵抗せざる可らず在留外人の保護は地方勞農會の職務にして地方勞農會は其義務を遂行せん爲には所有方法を講ず可し日本の干涉は如何なる場合に於ても秩序と保安との確立を援くるものに非ず却て不必要[illegible]に屬す西伯利に於ける勞働者農民は反革命派をして勞働階級を破壞せんとする計畫及び其利益を裏切らんとする行爲を遂行せしめざらんが爲め所有手段を講ず可し反革命的行爲は容赦なく粉碎せらる可し全西伯利は戰時狀態にある事を布告す各地革命軍司令部は自ら軍隊を組織し帝國主義者の侵入に對し革命を擁護せざる可らず（莫斯科電報）

我兵上陸理由通告

露都發行のノヴエウエドモスチ新聞所載（四月七日ボログダ發電）に據れば同地に於ける米國大使は日本政府より日本兵今回の浦鹽上陸は聯合諸國全體の協議の結果にして其目的は獨逸の侵入に對し露國の利益を支持するにありとの電報に接したる趣也（莫斯科電報）

赤衞軍二市に集る

確實なる方面に達せる情報に據れば浦鹽は形勢依然たるも其後武器を携帶せる赤衞軍はニコリスクに集中しつゝあり又赤衞軍のニコリスク集中に就ては單に白衞軍に備ふるが爲め或は浦鹽の白衞軍を攻めんが爲なりと傳へらる（哈爾賓特電）

浦鹽の赤衞軍戰闘準備

我陸戰隊哨兵の配置變更さる

哈爾賓のセミヨノフ軍は近く浦鹽に侵入し日本陸戰隊の應援を得て過激派の騷擾を制す可しとの風説ある爲にや過激派は九日突如浦鹽市内一番川に武裝兵二百名、非武裝兵五百名を浦鹽停車場に武裝兵百名をエゲリシエド埠頭に武裝兵士二百名を集中して警戒せしも即日解散せり、一番川に於ける赤衞軍本部は戰闘準備を整へ居るものゝ如し尚日本陸戰隊より市内四辻に配置の哨兵に對し過激派より發砲するものあり配置變更されたり（浦鹽電報）

西伯利の俘虜活動

西伯利に於ける獨墺俘虜の勢力は今や拔くべからざるものありレーニン政府の命令せる赤衞軍の組織に關しても其の一切の事務は俘虜の手に依りて行はるべしと信ぜらる而して目下散在せる俘虜は十五萬三千人内ブラゴエチエンスクに三萬人、ハバロフスクに二萬人、チタに六、七萬人在りて其の一部は武裝し或は各方面に盛んに活動しつゝあり（哈爾賓特電）

郭督辦の交換條件

東清鐵道督辦郭宗熙氏は駐支露國公使に對し外蒙古の庫倫コフト、ウリヤスダイ等の處置は西伯利亞不穩の影響を受け不安の狀態にあるを以て民國二年の露支條約に基き是等の各地に於ける支那兵の駐屯數を增加し其交換條件として吉林省より東清鐵道總裁ホルワット將軍に糧食其他の供給を爲すやう申込みたりと（北京特電）

トロツキーの新任命

勞農政府の閣員に於て陸軍執政官兼最高軍事會議長トロツキーは海[illegible]

[illegible]ーチン中佐は今回委員會の手に捕へられたり元來ニキーテンは極東委員會のセミヨノフ軍等と別派を爲し居りしものにてホルワット長[illegible]

赤衞軍の集中地點

赤衞軍は漸次其兵力を浦鹽要塞の後方地點二番川に集中しつゝあり[illegible]

獨の俘虜問題提議

獨逸外相は講和條約に基き莫斯科に於て速に俘虜問題を解決す可きを提議し露西亞にして是れに贊同せば獨逸は直に委員を發し一氣呵成に是れを決定す可く而して是れが代表者としてハミルバッハ伯を任命し外交事務を司らしむ可く其旅行の安全に就きては露西亞に於て充分に保證せられたしと（哈爾賓特電）

露艦武裝解除要求

莫斯科來電＝獨逸外相は勞農政府外務執政官に對し次ぎの如き無線電信を寄せたり講和條約に依り露西亞は其の軍艦を露西亞の港灣に移すか或は其の武裝を解除すべきものなるに多數の軍艦は尚ほ武裝の儘依然として芬蘭の港灣に碇泊し居るは即ち條約に抵觸せるものなり故に我が政府は芬蘭政府の同意を經て速かに波羅的海に於ける露西亞軍艦の武裝解除を要求するに決せり獨逸政府は十二日正午迄一週間の期間内に武裝解除に到るべきを期待す若し右期間内に於て之れが實行を見ざる時は芬蘭の同意を得て右軍艦を自己の權力の下に移すべしと因に獨逸は既に四萬五千人の兵を上陸せしめたり（哈爾賓特電）

獨勞農政府に要求

獨逸は勞農政府に對し速かに小露西亞との講和を締結すべきを要求したるを以て同政府はカシヤワスクーレンスクに於て談判を繼續すべき旨回答を爲したり（哈爾賓特電）

滿洲里の支那民避難準備

國境の閉鎖＝以西は交通杜絶

支那領事館は滿洲里より十一日夜電報來せる所に據れば滿洲里は過激派と獨墺俘虜との攻擊近くある可しと傳へられ支那商人等は商品の投賣を爲し避難準備を爲し居れり同地は支那兵一千名にて守備し三里西方なる國境を閉鎖し支那兵二萬ありと謂ふも事實は一萬なるが如しセミヨノフ軍は將校一千名にて兵不足なるより支那兵と共に過激派の侵入を防ぎつゝあり、セミヨノフは自己の軍隊に閉鎖されし列車の如きも一切滿洲里以西には行かず交通は全然杜絶せるより國境以西の情態不明なり 目下滿洲里には支那人一萬五千名露人五千名日人百三十名あり日人在留者の一部は賣春婦なり露人の一富豪は日本に歸化し得れば財産の半を提供せんと云ひ又過激派の露人は非常に日本の徳を慕ひ居れり滿洲里哈爾賓間に利權を獲得せん爲め米人が目覺しき活動を爲しつゝあり將々哈爾賓以内は露人間に殺伐の氣溢れ哈爾賓の露人は生活上極端なる困難に陷り居れり（長春特電）

墨國匪徒米軍砲擊

墨國匪徒の一隊はリオグランデーを超わんとして米國巡邏隊に對し發砲せり是が爲め目下米國巡邏隊と匪徒との間戰闘續行中なり右報道に接しクルバソンに於ける米軍は應援の爲め同地を出發せり（桑港電報）

中日經濟的提携

清北安協如何＝總統選擧

赴日記者團長 汪立元氏の談

赴日記者團長汪立元氏は東中往訪の記者に語りて曰く「中日兩國が互ひに理解し合ふ結果動もすれば乘離背反せんとする兩國の關係が年と共に密爾近接し來れるは慶ぶ可き現象である、併し乍ら從來の中日親善は

◆單に政治上のみで無く國民的親善を期待し得可き經濟上の提携が閑却された爲めに兩者共に握手せんとする手の冷やかさを醸ねて居つたが將來は經濟的に提携して兩國の根本的親善を計らねばならぬ赴日記者團が北京を出發せんとするに當り段總理は一行に對して日本に於ける

◆產業狀態を視察し以て中日兩國の經濟的結合の上に貢獻せよと希望意見を述べられた程で今や中華民國に於ては上下共に經濟的提携に依る中日親善を期待して止まないのである……南北妥協は望み有りや否やと問ひたるに對し段總理は

◆平和に眷戀し南方の態度さへ革まらば何時にても安協す可き下心有るも南方の異意容易に測難い許りでなく眼中殆ど國家無き態度に出るため止むなく討伐する事となり倪嗣冲入京と共に湖南酒川廣東の討伐を續行する事に決定したが果して討伐するや

◆否やは疑問 であるは自分は南北妥協は早晩實現すべき者である事を確信して止まないと述べた記者は十三日夕刊所報の倪嗣冲氏は臨時參議院を國會の代りと即け目下國會議員の總選擧中で八月一日には議會も開會さるゝ事になつて居るから如何に倪嗣冲でも非廢主張は爲ないだらうと思ふと云つた

高博士入京

九州帝國大學工科教授工學博士高壯吉氏は十二日朝入京天眞樓に投宿せり

東清鐵道總辦 郭氏捕縛

東清鐵道總辦郭宗熙氏は北京に於て捕縛されたるが理由は政治問題にて過激派に贊同せる爲なりとの説あり（哈爾賓特電）

鞍山店鐵鑛水源地發見

滿鐵鞍山店鐵鑛所水源地は同鑛所の死活問題として滿鐵にても鋭意研究中の處此程首山堡附近に於て豐富なる水源地を發見し是れにて水源地問題解決を見たり（大連特電）

石阪少將還る

内田大使と分れ最近迄ウオロクダにありし石阪少將は十二日敦賀著直に東上せり（敦賀電報）

亞鉛鑛業整理

一時非常の利益を收めし大阪亞鉛鑛業會社は今回根本的に刷新す可く整理期間中は無配當なるやも知れずと（大阪特電）

川村滿鐵理事

川村滿鐵理事は十八日入港の哈爾賓丸にて歸任の筈なり（大連特電）

北京記者團

十三日京城觀察の順次[illegible]

[illegible]市内南山町生れ前科三犯の松田辰造[illegible]

▲大川久作氏（滿鐵社員） 十二日朝入京巴城館へ
▲河野常太郎氏（同上） 同上
▲中谷幸鶴氏（水原東山農場長） 同上
▲村上濟治氏（東京實業家） 十二日夜入京天眞樓

▲双眼鏡▼
◎十五形 六枚玉 金十二圓
◎十三形 六枚玉 金十一圓
送料鮮内十二錢 外三十錢
右僅少新荷著至急御下命願上候
京城太平通電話構内一八番
京城日報社代理部
振替京城三〇〇番

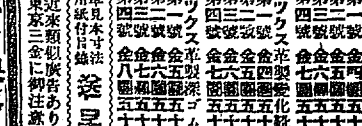
新學期開講
漢文講義錄
會長 帝國大學教授文學博士 服部宇之吉
會則進呈（無代）見本付
大日本漢文學會 東京神田西小川町一丁目 電本局三七〇八

會員大募集
朝鮮總督府遞信局 競爭入札 購買
一、炭化石灰、途料、電話機、鐵線、銅線、硝子、ゴム線及送受器其ノ他
入札ハ四月十三日ノ本府官報ニ在リ
詳細

新荷著 懷中時計

懷中時計（△印はラヂユーム入）
ニッケル側十八形 片蓋アンクル 二、五〇
[illegible]
腕卷時計（▲印はラヂユーム付）
[illegible]
右は今回新著の商品にて本商會は特に確實なる品を選び當店の保證付にて販賣致し候地方よりの御注文には小包郵便にて御送付申上候
時計、蓄音器、ミシン機械、自轉車、洋酒各國貨直輸入商
イングレッソー商會
本店京城本町二丁目 電話九七二番

株式名義書換停止公告
來ル四月二十五日ヨリ第十回定時株主總會終了當日迄株式名義書換ヲ停止ス
大正七年四月
東洋拓殖株式會社

信用ある東京三金の靴

ボックス革上靴 第一號 金五圓五十錢 第二號 金五圓五十錢 第三號 金六圓五十錢 第四號 金七圓五十錢
ボックス革製深ゴム靴 第一號 金四圓五十錢 第二號 金五圓五十錢 第三號 金五圓五十錢 第四號 金六圓五十錢
ボックス革製編上靴 第一號 金五圓五十錢 第二號 金六圓五十錢 第三號 金七圓五十錢 第四號 金八圓五十錢
近來類似廣告あり御買求の際は東京三金に御注意を乞ふ
革見本寸法用紙付目錄 送呈
以上の技術を以て一般紳士用靴は最も入念に製造せし選精なる材料を使用して好適なる品なり
御注文の節は代金引換小包送料實費申受く
東京市芝區愛宕下町
三金高等靴店
電話芝六九〇番 振替東京七壹壹七番

宮崎式 滿洲瓦
安價 經濟
一、屋根材料トシテ凡テノ點ニ於テ他品ニ優越ス
一、耐寒耐暑ハ勿論絶ニ雨漏リノ憂ナシ
一、第一家屋ニ雅致ヲ添ヘ外觀極メテ美ナリ
一、重量輕キガ故ニ木材ヲ節約シ得ルナリ
一、雨漏ナキガ故ニ工場倉庫等ニ至ル要セス
一、坪當ニ於テ日本瓦ノ如ク別ニ棟坪ヲ計算セス
一、吸水量少年々硬化シ三年後ハ殆ド鐵板ト同シ
一、凡テノ點ニ於テ缺陷ナキ屋根材料ナリ
壹坪ニ付五圓八拾錢（龍山）六圓拾錢（京城）
龍山漢江通り
宮崎製瓦所分工場
電話六一八番

防水布雨具

卸問屋
大阪市京町堀通貳
奥田商會
電話土佐堀九三三番 振替大阪二三一一七番
攝津伊丹町
奥田防水布工場
（定價表無代進呈）

南大門支店移轉廣告
當行南大門支店は來る十五日より新營業所（府内南大門通五丁目三番地）に於て營業可仕候間此段廣告仕候也
大正七年四月十二日
株式會社 朝鮮商業銀行

川北製 モートル

其他 電氣機械器具販賣
在庫一馬力以上二百馬力マデ
九州電氣軌道株式會社 九州水力電氣株式會社 專屬代理店
株式會社 川北電氣企業社（大阪本店資本金參百萬圓）
小倉出張所
九州小倉市鳥町三丁目 電話六八
拾五馬力以下ノモノハ各電氣會社ニテ試驗濟ノ上納品シ拾五馬力以上ノモノハ試驗ノ際技師立會シ納入ス

小學教員受驗講義
立身の捷徑は先づ就職容易なる小學教員となるに限る全國其不足實に四萬
本會は學監師範學校教頭大橋先生監修の下に最も親切迅速に教授し受驗の便を與ふ正科一年準備教育
定科六ケ月卒業會則申込次第進呈 東京小石川局區内帝國師範教育會

◎鑛業の智識を得んとする者は見よ
鑛業講習錄
新學期開講入學の絶好期
目下入學者には特點あり
本校は
大日本通信（鑛山學校）朝鮮支部
京城府黄金町通り一丁目 電話四五三番

◎參謀長執政官兼總[illegible]に至りしもの如く同時に見合はイアダツク[illegible]執政官たりしデヴツ[illegible]法會部及び祖國擁護極東委員會の編成にかゝる軍隊の參謀長ニキ[illegible]フも捕縛されたり（哈爾賓特電）

[illegible]會開會中政府委員として[illegible]東上中[illegible]滯在すべく歸任は來月に入るべし[illegible]の鈴木度支部長官、大塚參事官は尙隨行の全屬は十日夜歸任せり

◉報界の佳賓を迎ふ
支那記者赴日團の一行入京す

赴日記者團は十二日午後七時半南大門驛着出迎への記者が汝山驛に一行を訪へば有難う御苦勞と言ひ乍ら記者を取圍んで名刺の交換をする流石君子國の紳士連丈けに

▽慇懃で靜肅な事 は豫想外であつた團長汪立元氏は肉附豊かの頰に人を惹きつける樣な笑を泛べ乍ら滿鮮各地に於いて熱誠な歡迎會を催さるゝ事を感謝した後經濟的提携に依つて中日親善を實現せしめねばならぬと大いに日支間の共同提携の要を說く一行中の日本通なる北京日報社の主筆徐璜氏は日本人以上の日本語を操り乍ら『日本に留學した者は一行中三名で其餘の團員は始めての渡日であるから非常に愉快を感じてゐる

▽鴨綠江を踰えて 朝鮮に入ると一城一廓の支那と違つて市街と部落とを問はず城壁が繞らせてないので奇異を感じ朝鮮家屋と婦人の姿が頗る注意を惹いたが始めて見る故か朝鮮の婦人の顏が皆同じやうに見ゆると言つて一同大笑ひした』と一行の第一印象を語ると傍に立つて居た副團長の康士鐸氏が箕子の廟を見たいと言ふ、箕子は山東省から朝鮮に渡つて來たので一行は最も興味を有つて居るらしかつた

▽列車が龍山近く なると下車の用意で混雜し出したにも拘らず本社寫眞班の註文でわざ〳〵食堂車に入つてレンズの前に腰を下し寫し終ると龍山まで出迎へた新聞記者や鮮銀の社員等を一々挨拶を交し乍ら南大門驛に到着するや直ちに自動車に分乘して鮮銀主催の歡迎會場なる花月に赴いた當夜本社はイルミネーションを點じて

▽歡迎の意を表し た因に一行は東道役なる渡邊哲信、長谷川賢、横山八郎、藤澤豹二、原田顧次の五氏と既報十九名の筈であつたが中陳溥賢、王葆蓀の二氏は先發し張友棟、彭希民の兩氏は事故の爲め一行に加はる事を得なかつた爲め入京の支那記者團は十五名であつた

◉露都に於ける殘留邦人
妻の露人と別るゝに忍びず
◆危險となれば蒙古奧地へ

最近危險を冒して露都より歸朝したる某實業家曰く最近の露西亞は一時よりも落着いて來たが在留邦人はいつ過激派政府から

▼▲迫害を加へられるか解らないので追々として安かならぬ狀態だ目下歐露方面に殘留して居る日本人は可なりあるが莫斯科には熊崎領事を始めとして横井商店主外六七名ペトログラードには露人を

▼▲女房として居るものが五六人も居る其中には西本願寺の僧侶の戶泉憲明と言ふ人もあるが妻なる露人が別るゝに忍びずとあつて今猶踏留まり寶石で名高いウラル山東麓のエカテリンブルクにも

▼▲洗濯業の村岡夫婦外二名の職人三名の同業者が居る東西西伯利には未だ多數の邦人が殘留して居るが一般露人には受けが良く過激派の者も別に虐げる風もない然し何時危害が身に迫らんとも限らぬので愈々危險となつたら蒙古內地に引揚げると言つて居る

◉天臺座主遷化

天臺宗座主不二門智光師遂に十一日夜遷化せり（大阪特電）

列車中の赴日支那記者團
○は汪團長△は康副團長＝龍山南大門驛間にて＝

◉砂糖が騰る
◇茶が騰る、乾物も品が無い
◇—移出不足で食料品が無い—
▽菓子屋で休業する者も有らう

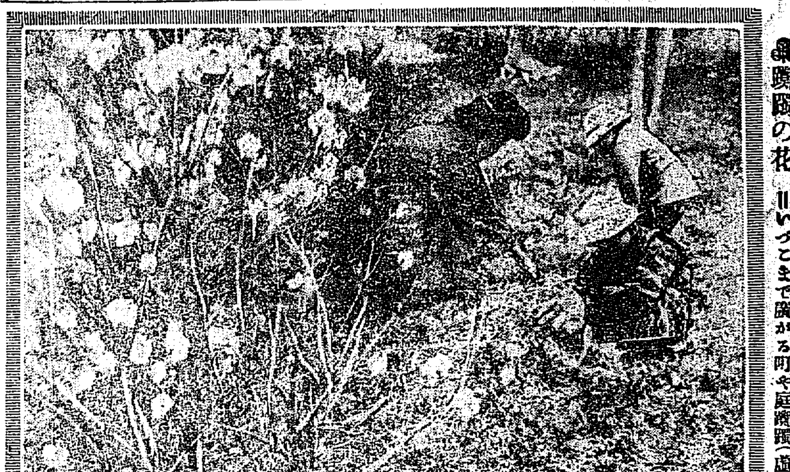
朝鮮より內地へ行くもの、滯貨が全線を通じ約四萬噸に達し居るといふ事は既報の通りであるが內地殊に阪神方面より朝鮮に對する鐵道の仕向荷物も內地鐵道の輸送緊忙に伴ひ朝鮮行は兎角

◉遲延の觀 がある殊に昨年來船運賃の暴騰した結果京盤の上から荷主が鐵道托送を喜ぶ傾向があり一方內地に於ける鐵送力の不足は益々甚しく特に關釜間の貨物輸送は目下頗る局限されて居るのであるから最近大阪驛では朝鮮行き貨物に對しては受托制限を行なつたといふ有樣でこの樣に輸運による內地發貨物の朝鮮の入荷は甚しく停滯遲延を見ねばならなくなつたので京城市中に於ける移入食料品たる

◉砂糖乾物 並に茶の樣なものは從つて在荷は拂底する價格は昂騰する一方の狀態になり現に砂糖は內地市場も臺灣糖不作の影響で幾許か强含みの模樣もあるけれど三月末に白砂糖一俵が十三圓五六十錢であつたのが昨今では十七圓六十錢といふ途方もない高値になつた乃ち一俵四圓の値上で小賣も場所によりては

◉一斤廿錢 以上に販賣してゐる處もあり尙砂糖卸商の一部の賣止めをする向をも生じたやうである、かくて若し此の狀態で二十日頃にも至らば菓子商などには休業の止むを得ざる者を出すであらうと言はれてゐるので當業者は此の窮狀の脫出策として多少運賃の高拂ひをしても海運により移入を計るに外なしと各其の方法に出でたる樣であるがどうしても斯樣なつては移入食料品の價格の前途は騰る一方の樣に觀られるのである

◉砂糖が騰る 茶が騰る、乾物の値がよくて良い物がないといふ京城市場の聲には斯樣いふ事情がある、それは滯貨から來る移入品の缺乏である



◉躑躅の花 ＝いづこまで廣がる町や庭躑躅（虛子）＝

◉銃器多數發掘

咸北會寧憲兵分隊にては本月五日公立小學校運動場東方城壁の麓に多數の銃器埋沒しある事を探知し直ちに人夫を督して發掘せしめたるに果して地下五尺位の處より刀一、銃劍一、其他多數の銃器現れたり而して該銃器類は何れも甚だしく腐蝕しありて銃身及び附屬金物のみにして銃床其他の木片等は更らに無き處より考ふるに埋沒の當時積み重ね使用に堪へざる樣燒却したる後地中に埋めたるものらしく又該銃は韓國時代のものにして中には露國式五連發らしき銃も若干ありたるが何れの時代に於て何者が斯くの如く多數の銃器を埋沒したるやは未だ判然せざるも腐蝕の程度等より察するに多分日露戰役時代ならんと（淸津）

◉主家を荒す

長崎縣南高來郡湊町生れの松尾正（三）は京城本町一丁目の江頭衣服店の支店に雇はれ中北米倉町の料理屋花屋より取立てたる衣服代五十一圓餘を橫領消費し解雇されたる後同店員の如く裝ひ同町の島屋より三十二圓の衣服代を詐取し南大門通の笑福旅館に止宿中他人の名義にて江頭支店より衣類を電話にて詐取し大分縣の別府に逃亡中を逮捕され京城地方法院にて懲役一年の處分となる

◉趣向を凝した歡迎會
鮮銀の赴日記者團招待

鮮銀招待に係る赴日記者團歡迎會は別項の如く十二日夜花月に於て開かれたるが主賓側としては支那記者團陪賓として京城記者團主客數十名席定まれば三島鮮銀理事の挨拶に亞いで汪團長の謝辭あり徐璜氏之を通譯したるが同氏の

◆日本語の流暢 なるには滿堂一驚を喫したりき謝辭終つて餘興連の斡旋にて主客打寛ぎ興を交へ興盡きざりしが當夜の宴は趣向頗る念の入りたるものにて献立の如きも表紙に日支兩國旗を打番にし中には歡迎の辭及び主客の姓名餘興の順序等印刷しあり記念品としても好個の者たる可く

◆最後に餘興 として藝妓の踊り數番ありたるが就中中華民國旗を象れる五色の布を手にして『布晒し』及び妓生の『裁牡丹』の踊りには來賓何れも大滿足を表し次いで中華民國旗を手にしたる多數の藝妓が舞臺に現はれたる時は東道役なる日本新聞記者は斯くまでに熱誠なる歡迎會を催さるゝ事とは豫期せざりしと

◆感謝の意を 表し居たり因みに一行は直ちに朝鮮ホテルに投宿せり

◉觀水橋渡初式

十三日午後執行

豫て敦化門通りに工事中なりし觀水橋は既に竣工し新裝の姿美しく頗る異彩を放てるが十三日午後より吉例に依り渡初式を擧行し長谷川總督の渡橋終りたる後一般の渡橋を許す筈

◉前科八犯の賊

廣島縣佐伯郡神村生れの窃盜其他にて前科八犯の木原三次（三）は本年春京城で七箇所釜山で一箇所竊盜を働いた曲者にて此程京城覆審法院で懲役五年の處分となつた

◉肝付花院長 [illegible]

◉詐欺橫領

宮城縣伊具郡角田町生れ前科三犯の靑柳芳松（三）は京城櫻井町一丁目山口某方に寄寓中同家の衣類を竊取し大島紬の反物を詐取其他横領を働きたる廉により京城地方法院にて懲役一年の處分となる

◉家賃から懲役

廣島縣加茂郡三津町生れの三山太郎（三）は京城南米倉町三好和三郞氏方に雇はれ家賃の取立て中百餘圓を橫領消費し京城地方法院にて懲役六箇月の判決を受けたり

◉猩紅熱

平壤上水口里當時京城眞鐵洞居住の咸成民（一八）は十日猩紅熱と診斷さる

◉京城の監獄に
囚徒が何人居る
▽內地人は減少
京城監獄が一千六百
西大門には二千百名

三月末日現在調査に據る京城、西大門監獄に於ける受刑者刑事被告人勞役場留置者等の在監人員を見ると京城監獄に在つては在監人員合計一千六百三十七人を示して居るが之れは朝鮮人の男ばかりだ

◆西大門 監獄に在つては合計男が一千九百六十七人で女が百四十八人內內地人の男が四十六人、女が十六人朝鮮人の男が一千八百六十七人女が百二十四人支那人の男が五十四人と云ふ內譯になる今之れを受刑者刑事被告人其他に分類して見ると

◆京城監 獄では受刑者朝鮮人男が一千六百三十七人で刑事被告人勞役場留置者は一名もない西大門監獄では受刑者內地人の男が七名女が十四人朝鮮人男が一千六百五十三人女が百十八人支那人の男が五十二人刑事被告人では

◆內地人 男が三十九名女が二人朝鮮人の男が二百十二名女が十四名支那人の男が二名、勞役場留置者では朝鮮人の男が二人と言ふ勘定になる、以上の合計を前月に對照して其の增減如何を見ると京城監獄に於て朝鮮人の男が五十五人增加し西大門監獄では內地人の男が十一名

◆減少し 朝鮮人の男が四十八名女が十四名增加して居る事になる差引する結局京城で男が五十五人增加し西大門では男が三十七人女が十四名增して居る譯である

[illegible]追々に[illegible]の時が來たがこの[illegible]といふ石は非常に硬度が高く然にも强い相で▲[illegible]上の跡に發見した寶物[illegible]色が少し黑ずんだ穴だつたといふ▲翡翠と云へば共に流行の寶珠でこれは今迄奇味を持つた物が十餘とされてゐたが▲この程[illegible]のもので一個三百五圓と云ふ寶珠が新聞雜誌の珍事異聞の種となつたのは色の異黑な黑寶珠であつた▲黑寶珠！この黑い珍らしい寶珠がこの朝鮮の南の方に產するのである▲その靑みの深い黑いのや血の樣に赤くて暗いのには捨て難い逸いのがある▲尙朝鮮に產する寶石と云へばこれは北鮮の月長石ムーン、ストーンがあるこれが亦比較的多數產するのでこの上品な月の樣に靑白い立派な寶石が容易に手に入れる事が出來る▲これ等は共に朝鮮產といふ處から特に心を盡して李王家美術品製作所で取扱つてゐるのがゆく〳〵は重要な朝鮮物產となるのであらう▲製作所と云へばあそこでは曾て有名な指物匠の藤井の歸國の爲にいゝさし物が出來なくなるを遺憾として之れを引受け今では立派な技術者とあり軸箱なぞ特に樣式も手際も鮮かなものが出來る相だ

◉無錢遊興で一年 熊本[illegible]

人事消息 [illegible]

胃腸良藥 ホシ胃腸藥

消化不良……の時 ホシ胃腸藥 消化を助け胃を强む

食慾不進……の時 ホシ胃腸藥 障害を除き食慾增進

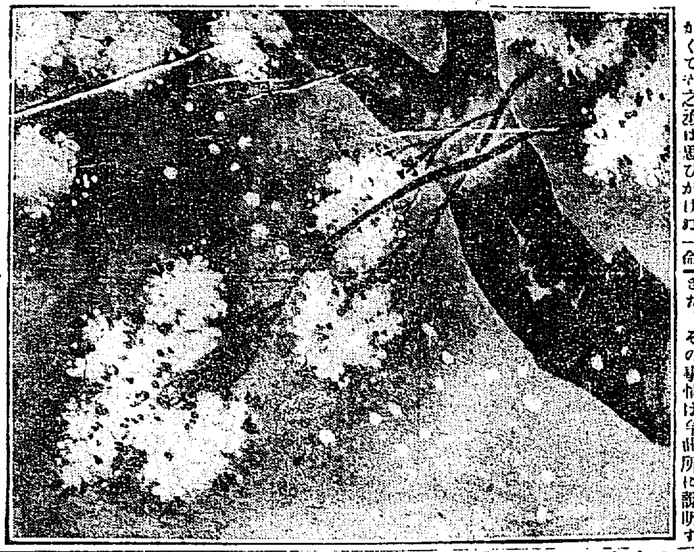
惡醉宿醉……の時 ホシ胃腸藥 醉を消し心身爽快

溜飮惡心……の時 ホシ胃腸藥 胸開き氣分快活

胃腸カタル……の時 ホシ胃腸藥 痛を治し下痢を止む

定價 廿錢 五十錢 一圓

東京市京橋區南傳馬町三丁目
星製藥株式會社
電話京橋一七八五
振替東京二〇五二二



櫻御殿

大阪 霞の家主人

第二百回 英雄の涙(七)

英雄の涙、英雄の涙、異にこれ英雄の涙であつた。正則は罪を憎む事極めて深い。同時に人を刑に行ふ事が極めて過重であり、苛酷であつた。それが道齋の審恩を思ふ切な一言に動かされて、其罪を赦したばかりでなく、網槍の座敷牢に入れて乾し殺しにせよとまで命じた清之丞の罪科をも赦すに至つたこの一事はたま〳〵正則の全幅を語る幾千萬の詞にも優れてゐた。

かくて清之丞は思ひがけぬ一命を拾つて再び櫻松枝と同居する幸福を得た。風早利右衛門と芳野とは、それと反對に永く牢獄に繫がれて遂に天日を見る時を得なかつた。一方の初瀬は遂に大和の客舎で歿したので、霧島は宗殿が伴つて安藝の國へ歸る。助左衛門も又退城した。而し落度が無いわけでもないから、最初からの事情を逐く諸士頭まで申出た。すると、諸士頭から、一伍一什を正則へ言上した。正則はつら〳〵聞いて

『武士は意地を貫ぶ、助左衛門の所業は、道に外れたる如くなれど、そこに武士の意地がある。これも又罪すべきでない』

英雄の涙は、恩義、忠節、意地に向つて遺憾なく流されたが、徳川家の犬になつて奥向へ入込んで二人の女中、及びこれに關係した利右衛門に向つては、一滴の涙も注がれなかつた

清之丞の忠節は、功を奏せざるが如くに見ねて、その實は偉大の功を奏し、初瀬芳野の二人を櫻御殿から追ひ退けるに至つた。道姫は相變らず優やかに美しく、櫻をかきつぶした襖、屏風、唐紙は相變らず華麗であつても、江戸とも聯絡を取るには何の力をも爲さなかつた

福島家の滅亡は清之丞の忠節に依つて多少の期間を緩める事が能きた。その事情は今此所に說明する要もない

此所に、あはれを止めたのは、伊奈圖書の一子一德丸であつた。初瀬は小兒ながら正則を父の仇とつけ覘つて廣島の城下へ入込んだが、却つて芳野の時めいてゐた間こそ、相に人々の信用も得て、どうかしたら一太刀位は怨みを報う事が能きるかも知れぬと思はれた程であつたが、二人の女中が姿を櫻御殿から沒した後は、誰と話をする者もなく、日に〳〵零落の淵へ沈んだ。たゞ美知姫のみは蔭ながら力を添へた。それも彼の地位に影響を與へる程の運びには至らず、反つて清之丞の出獄に依つて彼の鋭い注目を受くる事が一際深くなり勝つた、

時には一德丸が村平に對して

『村平、殘念で堪らぬわのう』

と悲哀を告げる事さへあつた。けれど村平は靜かに

『時節をお待ちなされませ、まだ〳〵お年がお若うございます。福島殿の御運勢が容易に盡きぬやうでございます、何、命さへあらば一日か一度は本意をお遂げ遊ばすが叶ひます、お父上の魂、始終お守りならせられ、じつと御辛抱なされませ』と云つた

『時節が參らうか』

『參るだんぢやござりませぬ、江戸大御所樣の御威勢、日に〳〵高まらせたまふを御覽遊ばしませ、又、その御氣質がどれ程に執念深くゐらせられるかをお考へ遊ばしませ、正則公が關ケ原の御陣に於て、些しばかり御功名なされたのを、鼻の先におかけなされ、あなたの御父上へ詰腹をお切らせ遊ばしたを、如何に憎く思召してゐらせられるか、其他、折が折とて凝と御勘忍遊ばしたとが、どれ程あるか分りませぬ、その御遺恨を晴らし遊ばす時が、やがて若樣の御本望を遂げたまふ時でございます針の蓆に坐つても、このお城のお動き遊ばしますな、凡て突くばかりが仇討ぢやござりませぬ、當お城を根本から覆へして正則殿に詰腹を切らせるのが本當の仇討でございます』

村平は正則の運命を末の末まで見拔いたやうに云つた。それが果して事實となつて遂に廣島城の沒收となる。それに就ては一德丸の力が極めて多かつた。それらの詳細を詳しく記するは猶多くの紙數を要するので更らに折を待つことにする。此處に一端の筆を收める讀者諸君幸ひに健全なれ(終)

新時代小說豫告 花吹雪

大阪 中谷青霞

大阪霞の家主人の小說『櫻御殿』は愈々本日を以て完結するにつき次で新たに連載さるゝ新時代小說は中谷青霞氏の作にして、江戸の華と云はるゝ吉原の戀の遂引に町奴と共に旗本の次男が落花狼藉の横行にも一遊女が松の操は破られず、同僚の旗本と武道の意地より思はぬ兩家の確執となり、詐略葛藤家臣の爭奪、敵の捜索或は町奴が切腹、旗本の遁追或は僧侶の闘爭、叔姪の出家等遊女を中心に搦んで波瀾重疊宛がら活動寫眞を見るが如く讀者は手に汗して事件の進行を迎迎に暇なからん、乞ふ愛讀を給へ

乳牛 御用 岡野牧場 京城東四軒町 電話一〇六九番

霞

―玉の日十の月會―

芹郎

○普通にくらして衣ぬぐ野の霞かな 浮碧樓

○その日の新聞用のなく霞みかくろ 阿岐良

○ふなばたくらげながるゝ手をつかねてかすみ 鳥堂

○因幡丸がはいつた沖は霞んでゐる

人參ミルクキヤラメル

新刊紹介(到着順)

▲趣味之友(四月號) 二十五錢東京麻布笄町一八〇共社

▲食物の養生(四月號) 十五錢東京牛込市谷町五一石塚食養所

▲魂の家(四月號) 十五錢東京小石川小日向水道町一六共社

▲地方行政(四月號) 二十錢東京麹町九帝國地方行政學會

▲鞍山市街平面圖 三十五錢立山發文舍發行

▲婦人週報(四の一四) 五錢東京牛込市ケ谷町二の一七共社

▲棊(一一四) 十八錢大阪東區今橋五の一四觀西圍碁會

▲養蜂界(一一二) 六錢愛知縣中島郡奥町共社

▲經學院雜誌(金允植氏選) 非賣品京城崇三洞共三民學院發行

▲蹴球之世界(四月號) 二十錢東京神田錦町一の一六共社

▲住宅(四月號) 十錢東京芝烏森町一住宅改良會

▲中形時論(復活號) 東京小石川東維新社

▲大阪銀行通信錄(二四七) 三十錢大阪北區中之島一の二九大阪銀行集會所

謹告

先般來某實業家ノ招聘ニ依リ東京出張中ノ處九日夜歸堂致候ニ付此段謹告仕候

大正七年四月十一日

明治町二丁目 介石堂主 岡村介石

讀者の領分

▲或郵便所で一錢五厘の切手を買つたら「一枚でク」と意味ありげに小さく私語いた女事務員さんがあつた一枚はいけませぬか敢て問ふ(ゴ本人生)▲淑江樣情話が多いだらうさは鎌倉以前吾人の豫想であつたが果せる哉錄者の遊り情話に盈むでゐる試みに僕は夕闇を逍うて散歩がてらと云ふ風で觀察を試みたら案外の好成績を得た(川瀬の香)▲十日の朝は珍しい雪だ北漢山の頂上や南漢山の頂にかけて眞白く降つてゐたので冗然者の境地から冬の境地を望むやうに感ぜられた(藍萌子)▲四月八日の朝刊讀者の領分で寫仙霧君の「雨傘二百本と云ふ記事について吾人は學生の保護者として一言したい先生が御自分の小使である立場から一言したい先生が途中の雨に傘がなく泣き出したのを見たなら什麼に氣の毒に思ふだらう然し今の經費では皆な傘付けて置く事が出來ないのを思つたならばお察し申します此の際此の問題を一日も早く解決して先生のお心しださ接保護の任にある吾れ吾れは、ふ笑ひ話さ小供も雨が降つても大丈夫だと云ふ不斷の意味ある笑顏を見たいと思ふ。而して家庭と學校に強固なる聯絡があつてこそ初めて大島に他日有益の人材が生れて來ると思ふのです。假に寄附なる彼等成金連、寄附して來たとしても吾人は決して受取る譯には行かぬ其の上に於て之れを滿足して受取るは大なる教育の根本を誤りはすまいか。敢て讀者の反省を促す(天然洞にて栗原二屋)

花見化粧

(ミツワ文庫 七、四)

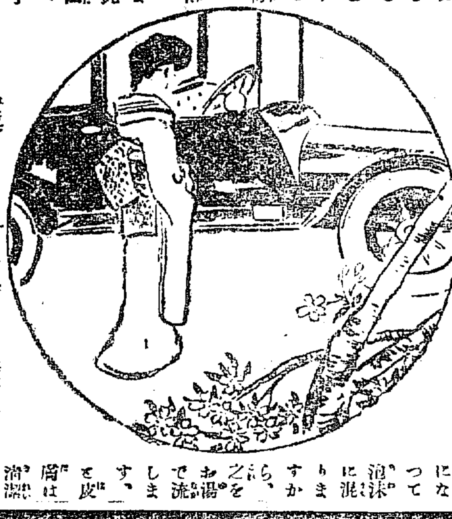
櫻咲揃ひて花見の節となる 花見の時に適はしいお化粧

中村歌右衛門談

上野、向島と櫻も段々咲き揃ひきして一年の中の樂みにして待たれた花見の節も此月になりました。花を見る人、見られる人、又花を外にしまして居ります人も節が節、お召物も陽氣な時でございますから、見の陽氣になりまして調和ひきす樣に少し派手さの加はりましたお化粧が、此節に宜しいお化粧とされてあります。御參考までに花見化粧としまして一通手順を申し上げませう。先づ濃化粧用の白粉を取つて兩の掌で擦り、襟足から頸咽喉、顎から顏へかけて平均に擦込みます。それから固練白粉を化粧水で溶しまして塗刷毛で掬ひ取つて、襟足、頸筋から咽喉へかけて濃く塗り伸しましたら今度は牡丹刷毛で白粉を落ちつけて乾かします。襟白粉が滲みましたら煉白粉を壓用だけ別の白粉皿へ取分けまして之を塗刷毛で薄りまして襟白粉よりは一段濃く顏に附けます。此の塗粉は額へ一文字に塗り、それから鼻筋へかけて兩方の頬へ及ぼし、顎の白粉と繼合せます。目の縁だけは生地のまゝで殘して置きまして、後にぼかします用意をして置くのでございます。次に水刷毛に水を含ませましてそつと掃り、殘りの濕で顏々を伸し、目の縁へも薄く伸し、兩方の頬と目の縁へ淡紅色の煉白粉をぼかし、その後を鼻咽刷毛で粉白粉を含ませて補ひまして、口紅を唇の内側から一寸さして、先で輕く留めて置きますと、あでやかな花見化粧が出來上ります。此の濃い襟白粉と薄い顏白粉との目が際立たない樣にし目の縁のぼかしがほんのりと行かないでは花見化粧らしくないのですが、さうつけますには中々熟練を要しますと同時にお化粧の基礎になります地肌が整へられて居なければなりません。地肌を整へますには常に必ず皮膚の營養を助けるミツワ石鹸を使つて汚垢を穩和に落し、機能を健やかにしますのが何よりでございます。お湯なり水なりで濡れました皮膚へ此のミツワ石鹸を掌で溶いた雪の樣に白い泡沫をつけまして靜かに撫でます、と此の石鹸の作用で汚垢は吸はれる樣になつて泡沫に混じりますから、之をお湯で流しますと、皮膚は清潔に洗ひ出されて機能は健やかになり、機能は健やかになつて生々とい色澤になります。此の清潔になつた皮膚へ健膚藥ミツワ雪の花を擦込んで置きますと皮膚には潤ひが出來肌理が細かになつて白粉のかづみの宜しい皮膚になります

坂東三津五郎曰く 此からの陽氣にはよく頭の地がむづ痒くなつたり、氣脂臭くなつたりいたしますものですが、此頃ミツワ月の雫を愛用しまして、髮はいつも艷香になつて、脂け除れ、刷毛で注ぎますと地が涼しくなつて、心持まで爽快となります。

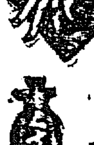
ミツワ月の雫は過剩の髮脂や脫毛を防ぎ、髮の色艷をよくします無類の愛髮用香水で、此からの暖かい節にはなくてはならないものでございます



醫學士 小山田 謹編 家庭治療法 四六版 二三〇頁

本書は日常罹り易き疾病の原因、症狀等を平易に說き、家庭に於て施し得る治療法を丁寧に敎へ、醫師にかゝるまでの親切なる相談相手となるものである。定價金五拾錢。但其半額(郵券代用不苦)を添へ御申込あれば一冊進呈す。東京日本橋區橋町丸見屋商店(振替東京七一〇番)

てんかん病 …石



純良の藥品と賣藥が揃つて居ります クラブ化粧品代理店ですから…御値がお安いです 京城本町二丁目角 古城賛化堂 電話一〇二番 振替七三七番

男のひみつ病

名譽大金牌 專賣特許 東京順天堂病院始め博士諸大家御證明 有効の空氣水合併療法も行はれ生殖器不完全、機能障害、急慢性淋病包皮を除る手術に治す ハガキ申込は說明書無代進呈す

東京市京橋區本材木町三ノ廿ガ 東京新療法研究所 大阪市北區北森町香地 大阪新療法研究所 京都市烏丸通リ魚ノ棚下ル 京都新療法研究所 北海道函館末廣町十二番地 北海新療法研究所

胃病なら イカイの一番 イカイ胃散

驚くべき藥力 イカイ胃散は一時的の消化藥にあらず、根本的に胃を強壯にし消化力を增進す、一度イカイ胃散を服用せば、胃に無限の爽快を覺え、胃病に特有の不快の感は消失し、食慾と元氣は著しく增加すべし

定價十五錢、卅錢五十錢、壹圓、貳圓 大阪市江戸堀 本舖 猪飼史郎藥房 發賣所…全國藥店にあり

診察時間 自午前九時至午後六時 初診の御方は可成午前中 京城長谷川町一丁目(朝鮮銀行裏門前) シメノウチ齒科醫院 電話八一二番

優等清酒

廣島縣西條町 釀造元 木村靜彥 京城府鍾路(中央市場) 發賣元 河野酒店 電話三三〇八番

内科 胃腸病 診察夜九時迄 京城本町一丁目 石川醫院 電話一二三七 九二〇九番

ルーデサック 廿個以上一割引 郵券代用一割增

りん病 慢性を問はず最新藥をお用ひあれ全治速かなり 七日分一圓 十四日分一圓九十錢 本藥は他店に無し各地に御注文あれ 京城黃金町三 振替京城三二七番 山田文榮堂

質 大塚質店 京城明治町二丁目元踏町 電話一八四九 ◎戰慄すべき火災の防御に遺憾なき完全な倉庫あり ◎多額の融通も成し出來得る限り御便宜を圖る

りん病ばい毒 にせドラッグあり御注意 詐欺漢なり 花柳病專門藥 京城南大門外停車場前 ドラッグ商會

大阪商船株式會社 仁川出帆 汽船出帆廣告

神戸大阪行 須磨丸 日清丸 南部丸 四月十八日 後五時出帆 / ×安東丸 木浦、釜山、嚴原、門司、長崎行 / 鎭南浦行 / 安東丸 釜山、門司、宇品、神戸、大阪行 四月十五日 後九時 / 清津行 宮島丸 四月十六日 後十二時 / 上海、基隆、打狗行 湖北丸 基隆丸 四月十三日 前六時 / 南洋行 米洲行 歐洲行 北米行 東洋行 南洋行 每月一回

朝鮮郵船 仁川出帆

○元山より北鮮各地經由雄基行 ○大阪行(釜山門司經由) ○元山ヨリ釜山麗門行 ○浦項行 ○濟州島行 ○木浦ヨリ多島海各島行 ○仁川、群山、木浦行 ○全州行 ○全羅南道沿岸行 ○淸津行(大阪神戸門司より)

日本郵船 仁川出帆 ○大連行、天津行 相模丸 四月二十日 三河丸 四月十三日 高砂丸 四月三十日 正午出 仁川海岸通 堀回漕部

開自動車著發時刻 鐵原居自動車部 金泉支部

釜山出帆廣告 ○門司、神戸、大阪行 和歌浦丸 ○元山、浦津、浦鹽行 立神丸 ○佐須奈、嚴原、壹岐、博多行 天草丸 ○元山、西湖、新浦、城津、淸津行 第三琴平丸 ○門司、宇品、神戸、大阪行 第三琴平丸 釜山港埠頭 大池回漕部

尼崎汽船仁川出帆 釜山、木浦、群山、下關、神戸、大阪行 秀吉丸 君代丸 大有丸 四月十九日 後四時出 仁川海岸通 杉回漕部

共同汽船仁川出帆 芝罘、大連行 共同丸 四月十三日 午後出 本町四丁目 共同汽船株式會社 電話一七三番 仁川代理店 田口回漕部 元山代理店 河村運送店

大阪米 十二日 前場 日本郵船 大阪株式 東京株式 △十二日後場 大阪期米 二十七圓〇九錢 仁川米穀取引所 十二日の六月限
△鎭安に寄付五錢と伸び四錢四節に至り大阪寄九十錢三節八十九錢の移りに中十二錢より一錢先二十